

令和 8 年 度

つるおかの教育

鶴 岡 市 教 育 委 員 会

目 次

市 勢 の 概 要	1
I 鶴 岡 市 の 状 況	2
II 鶴岡市のあゆみ	2
教 育 委 員 会	
I 教育長及び委員	3
II 組 織 図	4
教 育 行 政	
I 令和8年度鶴岡市のめざす教育	5
II 令和8年度鶴岡市教育委員会重点施策	6
III 教 育 予 算	19
学 校 教 育 関 連 施 設（小・中学校児童生徒数、施設概要等）	20
社 会 教 育 関 連 施 設（施設概要、利用案内・状況）	26
ス ポ ー ツ 関 連 施 設（学校体育施設開放状況、施設概要）	38
鶴岡市教育委員会沿革	45
鶴岡市教育委員会関係委員	46
学 校 交 流	54
鶴岡市教育施設一覧（所在地、電話番号）	55
1 学 校 教 育 施 設	
2 社 会 教 育 施 設	
3 ス ポ ー ツ 施 設	

二 市 勢 の 概 要

市 章



鶴岡市長
佐 藤 聡

この市章は、は翼を広げた鶴、は出羽三山と山形県、全体をもって鶴岡の「岡」を形づくり、紺碧の空に白い鶴が舞い羽ばたく様から、新市のさらなる飛躍の願いが込められています。

また、基調となる群青色は、南庄内の海の色も象徴しています。

(平成17年10月1日制定)

鶴 岡 市 民 憲 章

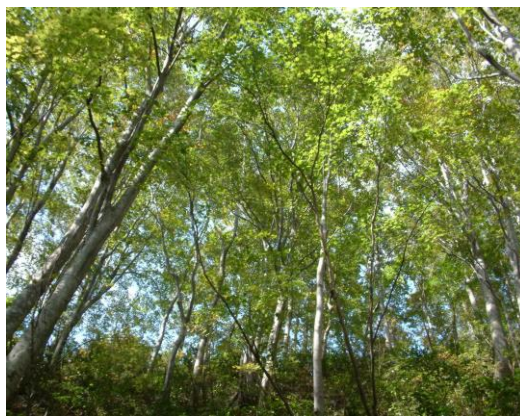
出羽の山なみと日本海に抱かれ、歴史と文化を築いてきた、いのち輝くまち鶴岡。
わたくしたちは、このふるさとを愛し、力を合わせて、希望に満ちた未来をひらきます。

自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。
心も体も健やかに、命はぐくむまちにしましょう。
認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。
働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。
進んで学び、共に語り、創意わき出るまちにしましょう。

市の花：さくら



市の木：ブナ



市の魚：クロダイ



I 鶴岡市の状況

位 置	北緯 38 度 43 分 38 秒 東経 139 度 49 分 36 秒 東西 43.1 km 南北 56.4 km 面積 1,311.51 km ² 海拔 15 m	鶴岡市は、山形県の西北部にある庄内平野の南部に、新潟県に接して位置しています。 鶴岡市の北部には庄内平野が広がり、赤川水系の赤川、大山川、最上川水系の京田川、藤島川等の河川が貫流しています。 この庄内平野の東部から南部にかけては、出羽丘陵、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯となり、一方、西部は日本海に面し、約 42km にわたって磯浜が形成されています。
人 口	113,767 人	
世帯数	49,311 世帯	
	(令和 8 年 3 月 31 日現在)	

II 鶴岡市のあゆみ

庄内南部における先人の痕跡は遠く旧石器時代にさかのぼりますが、縄文時代に入ると、鶴岡地域の岡山遺跡や朝日地域の野新田遺跡、羽黒地域の玉川遺跡など、集落跡が多く見つかっています。

奈良時代には、出羽・田川・飽海の 3 郡をもって出羽国がおかれ、市域は田川郡に属していました。

平安時代の末期には大泉荘という荘園の中心となり大宝寺と称していましたが、大宝寺城を鶴ヶ岡城と改名したのに伴い、地名も鶴ヶ岡と改められ、これが近代に入り次第に鶴岡と呼ぶようになりました。

江戸時代には、庄内藩 14 万石の城下町として庄内の政治・経済・文化の中心となって発展し、明治維新に至りました。

明治 4 年の廃藩置県により大泉県となり、この年のうちに庄内全域が酒田県と改められ、明治 8 年に鶴岡県と改称、明治 9 年に山形県・置賜県と合併して現在の山形県に属することになりました。

明治 11 年に田川郡を東田川郡と西田川郡に分け、藤島に東田川郡役所、鶴岡に西田川郡役所を置きました。

明治 22 年、鶴岡は町村制施行により鶴岡町となり、大正 7 年に稲生村を合併、大正 9 年に大宝寺村を合併、大正 13 年の市制施行により鶴岡市となりました。

大正 11 年、藤島村は町制施行により藤島町となりました。

昭和 13 年、温海村は町制施行により温海町となりました。

昭和 29 年、藤島町（藤島町・東栄村・八栄島村・長沼村）、櫛引村（黒川村・山添村）、朝日村（大泉村・本郷村・東村）、温海町（温海町・山戸村・福栄村・念珠関村）が町村合併により誕生しました。

昭和 30 年、羽黒町（手向村・泉村・広瀬村）が合併により誕生し、鶴岡市に 1 町 9 カ村（加茂町、斎・黄金・湯田川・大泉・京田・栄・田川・上郷・豊浦の各村）が合併、藤島町に渡前村が合併、大山町と西郷村が合併して大山町となりました。

昭和 38 年、鶴岡市に大山町が合併しました。

昭和 41 年、櫛引村は町制施行により櫛引町となりました。

平成 17 年、鶴岡市・藤島町・羽黒町・櫛引町・朝日村・温海町の合併による「鶴岡市」が誕生しました。

教育委員会

I 教育長及び委員



なり さわ かず のり
成 澤 和 則

教育長

- ①令和7年4月1日
- ②令和7年4月1日から
令和10年3月31日まで



もも せ かつ ひろ
百 瀬 克 浩

委員

- ①令和3年11月12日
- ②令和7年11月12日から
令和11年11月11日まで



さ とう りょう こ
佐 藤 涼 子

委員

- ①令和7年6月10日
- ②令和7年6月10日から
令和9年11月11日まで



なか むら きみ とし
中 村 公 俊

委員

- ①令和4年11月12日
- ②令和4年11月12日から
令和8年11月11日まで



こ ばやし ま き こ
小 林 真 貴 子

委員

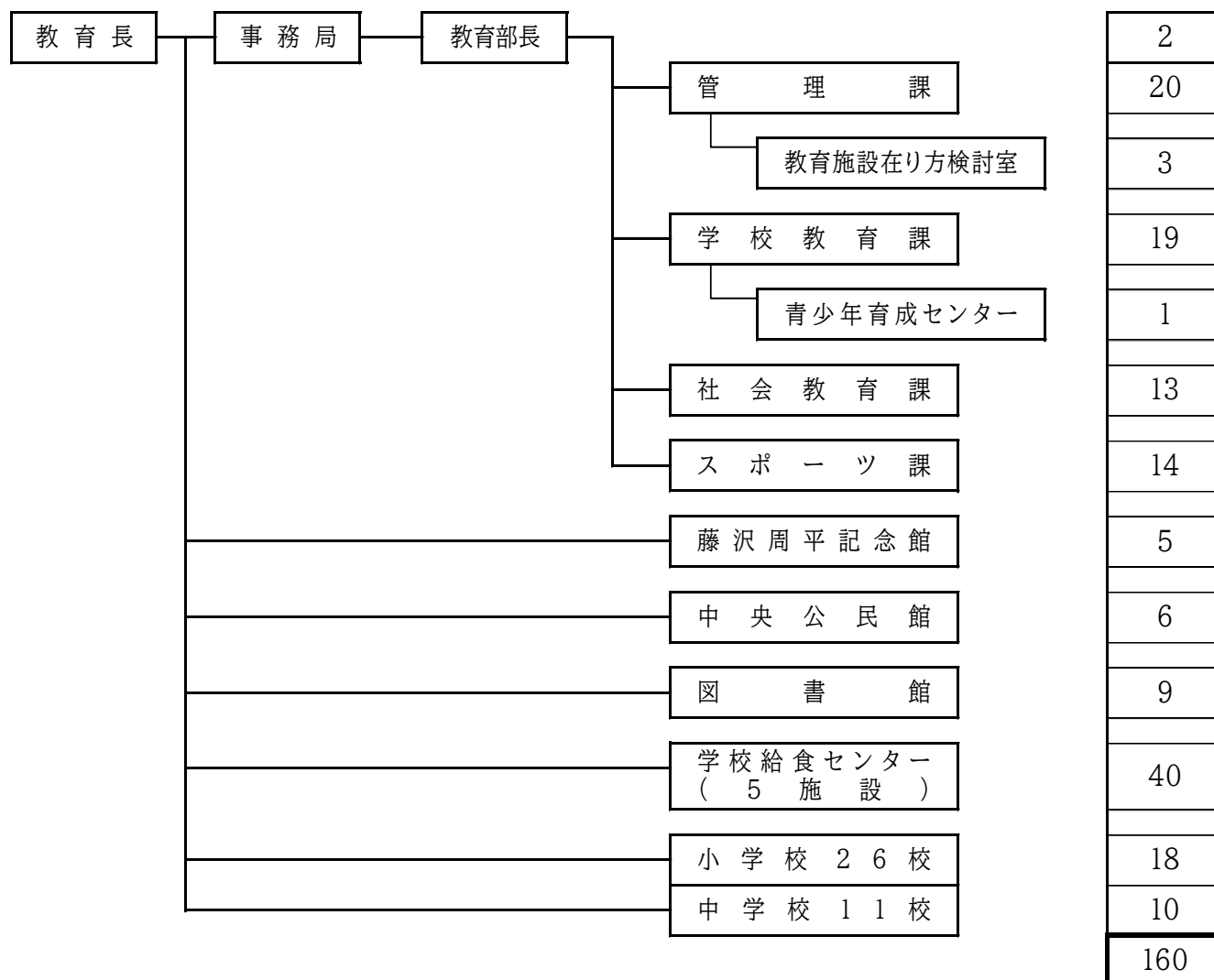
- ①令和6年11月12日
- ②令和6年11月12日から
令和10年11月11日まで

氏 名
職 名
① 就任年月日
② 現 任 期
(令和8年4月1日現在)

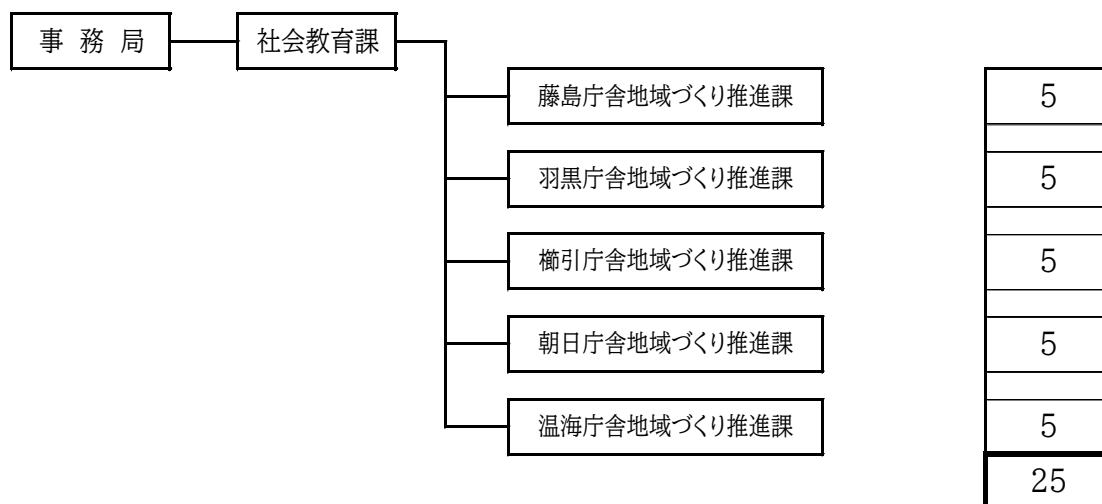
Ⅱ 組 織 図

鶴岡市教育委員会 配置状況

令和8年4月1日



各庁舎地域づくり推進課 社会教育課併任職員 配置状況



＝ 教 育 行 政 ＝

I 令和８年度 鶴岡市のめざす教育

鶴岡市は、庄内平野、赤川、出羽三山、朝日連峰、日本海など、美しく実り豊かな自然に恵まれ、城下町として、あるいは、全国でも有数の稲作地帯として、長い歴史の中で人を育て、文化を生み出し、産業を興し、豊かな地域を築きつつ、今日まで発展してきました。

このような歴史・文化・風土を精神的な支えとして、鶴岡市教育委員会は、第７次山形県教育振興計画を踏まえつつ、第２次鶴岡市総合計画のめざす都市像『ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡』の実現を目指します。

そのために、令和６年に策定した「鶴岡市教育大綱」に基づき、教育目標の実現に向けて五つの基本方針の下、鶴岡らしい教育の継承と発展に努めながら様々な取組を進めます。

＜＜教育目標＞＞

ふるさと鶴岡を愛し未来をひらく、
いのち輝く人づくり
いのち輝く市民が躍動する環境づくり

＜＜教育方針＞＞

- 1 逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進
- 2 市民の多様な学習環境づくりの推進
- 3 豊かな感性を育む文化芸術の振興
- 4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進
- 5 教育関係施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

Ⅱ 令和８年度 鶴岡市教育委員会重点施策

１ 逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

本市は、藩校「致道館」の教育の理念である「自学自習」「天性重視」「心身鍛練」等を大切にした教育風土を受け継いできました。

その精神を大切にしながら、知・徳・体が調和し、主体的に学ぶ、笑顔あふれる子どもを育成します。

そのために、子ども一人一人が進んで学習し、安心して生活できる学校環境づくりを進めるとともに、小中連携教育を深化・充実させた鶴岡型小中一貫教育に取り組み、９年間の義務教育の充実を図ります。また、すべての小中学校でコミュニティ・スクールを実施し、学校・家庭・地域が連携・協働する「地域とともにある学校」づくりを進め、地域の自然・歴史・文化等を生かした特色ある教育活動の充実を図ります。さらに、いじめ、不登校、就学、発達などの課題に対応するため、保護者や関係機関等と連携しながら、支援等の充実に努めます。

そして、逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進のために、必要な施設設備の整備に努め、円滑な学校経営を推進します。

学校給食については、栄養のバランスがとれた安全でおいしい給食の提供により、心身ともに健やかな子どもを育むとともに、望ましい食習慣を養い、地産地消の推進や食文化創造都市にふさわしい食育の充実と食文化の継承に取り組みます。

次代を担う子どもの育成に向け、学校・保護者・地域が一体となって取り組めるよう、積極的に情報発信を行っていきます。

（１）教職員の資質向上と心かよい笑顔あふれる元気な学校づくりの推進

① 学習指導要領を踏まえた実践、今日的教育課題に対する取り組み

- ア 教育研修所（教育指導）事業の推進（授業づくりアドバイザー派遣事業、授業づくりサポート講師派遣、教育講演会、イブニング講座、単元づくり相談会、各ブロック研修事業、授業研交流等）
- イ 教職員研修の実施（初任者研修・中堅教諭等研修、いじめ・不登校対応研修等）
- ウ 学校経営訪問、計画訪問、要請訪問等による指導
- エ 新聞活用教育研究モデル事業

② 各学校の創意工夫を生かした特色ある学校経営の推進

- ア 特色ある学校づくり推進事業（外部人材の積極的な活用、体験活動の充実）

③ 適切な熱中症・感染症等対策の徹底

- ア 学校保健管理事業の推進（保健衛生用品の配布）
- イ 校長会議や通知による対策等の周知・徹底

④ 多様性に関する学習の充実や環境づくり

- ア 基本的人権に基づいた男女平等、多様性について考える学習の実施
- イ 関係機関との連携による人権学習の充実
- ウ 校則（約束）等の柔軟な運用

⑤ 学校における「働き方改革」の推進

- ア グループウェア等による適正な勤務時間管理の実施
- イ 統合型校務支援システム導入による時間外勤務時間の削減

- ウ 教職員ストレスチェック事業及び長時間労働教職員面接指導の実施
- エ 学校を支える外部人材の配置（学校教育支援員、部活動指導員、ＳＣ、ＳＳＷ等）
- オ 部活動の地域展開の推進（地域クラブ活動指導員）
- ⑥ 優れた実践を行った教職員の表彰
 - ア 学校教職員褒章の実施
- （２）子ども一人一人が意欲的に取り組む学習指導の充実（探究的な学び、主体的・対話的で深い学びの充実）
 - ① 「わかる・できる」楽しい授業づくりの推進
 - ア 教育指導事業（授業づくりアドバイザーの派遣）
 - イ 校内授業研究会の充実
 - ウ 科学技術教育振興事業
 - ② 基礎・基本の確実な定着と指導方法や評価を工夫した学習指導の推進
 - ア ブロック研修会の実施
 - イ 小・中教科書整備事業（教師用教科書・指導書・デジタル教科書・指導資料等の措置）
 - ウ タブレット等のＩＣＴを効果的に活用した授業づくりの推進
 - エ デジタルドリルの活用
 - ③ 子どもの心を豊かにし、多様な学習を可能にする図書館利用の推進
 - ア 図書館活用に向けた校内体制と図書館環境の整備
 - ④ 国際理解教育の推進と外国語教育の充実
 - ア 外国語教育振興（ＡＬＴの配置、小・中学校の連携による外国語活動・英語教育の推進等）
 - イ ニューブランズウィック市交流事業（訪問団の派遣）
- （３）社会力と思いやりの心を育てる教育活動及び生徒指導の充実
 - ① 他への思いやりの心を行動化する教育の推進
 - ア 教育活動全体を通した道徳教育の推進
 - イ 鶴岡市子ども像の意識化と実践力の推進（掲額等の取組み）
 - ② 「いじめ」の未然防止と「不登校」の発生予防及び発生時の的確な対応
 - ア 教育相談・多様な学び支援事業（教育相談センター・教育支援センター・校内教育支援センターの充実）
 - イ 青少年育成センター運営事業（青少年育成市民会議等との連携）
 - ウ いじめ対応ハンドブック活用推進
 - エ 市及び各校のいじめ防止基本方針やいじめの重大事態対応マニュアルを踏まえた取組みの充実（未然防止・具体的対応・重大事態時の組織対応等）
 - オ 定期的な教育相談やアンケート等によるいじめ・不登校等の早期発見
 - カ 法的な視点をもとにしたいじめ問題への対応（いじめ問題弁護士相談の活用）
 - キ 家庭と連携したネットモラルの指導の充実
 - ③ 生徒指導の充実
 - ア 授業をはじめとする学校生活の様々な場面での生徒指導実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）に留意した指導の充実
 - イ 「学級満足度調査」を活用した温かな学級集団づくり

(4) 「ふるさと鶴岡」を愛する心を育む教育の充実

① 「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業

- ア 「親子で楽しむ庄内論語」の活用推進
- イ 「ふるさと鶴岡の学習」（致道博物館入館料及び移動経費の補助）、「海の学習」（加茂水族館見学に係る移動経費の補助）
- ウ 小学校スキー学習等支援事業
- エ 「学区内地域学習」推進事業
- オ 次代を担う人づくりの推進（高等教育機関等との連携）
- カ 大鳥自然の家での体験活動支援（スクールバス）

② 特色ある学校づくり推進事業

- ア 地域人材活用、地域を知り先人に学ぶ地域学習等の充実
- イ 体験的活動実施等への支援

③ 将来の夢や目標の実現のために行動する児童生徒を育てるキャリア教育の推進

- ア 地域の教育資源を活かし、鶴岡市キャリア教育推進指針と各校全体計画に基づく実践
- イ 出前授業の実施

(5) 自他のいのちを大切にし、健康で逞しい子どもを育てる体育・保健・安全指導の充実

① 心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現につながる体育の充実

- ア 運動の楽しさや達成感を実感できる授業づくり
- イ 体力・運動能力を向上させる1学校1取組みの充実
- ウ 小体連・中体連事業への支援

② 児童生徒の危険予測・回避能力の育成と危機管理体制の充実

- ア 学校安全、交通安全に関する指導の充実（地域学校安全指導員の配置）
- イ 安全点検、避難訓練・避難所開設等の充実（地域との連携推進）と危機管理マニュアル等の改善工夫（防災教育アドバイザーの派遣）
- ウ 緊急時対応に向けた体制整備（自然災害・感染症・熱中症・不審者・食物アレルギー・鳥獣等）
- エ 出前授業の実施

③ 「いのちの教育」の推進

- ア 教育指導事業（自尊感情の育成による自他のいのちを大切にする指導の充実）

④ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の確立および組織的な安全体制づくりの推進

- ア PTAとの連携・協力による生活習慣づくりとメディア・インターネット・SNSに係る取組みの推進
- イ 児童・生徒総合安全対策推進事業（見守り隊への支援）
- ウ 地域ぐるみの学校安全体制整備事業（地域安全学校指導員の配置）

(6) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育と組織体制の充実

① 専門家チームによる巡回相談の実施

- ア 特別支援教育充実事業、教育相談・多様な学び支援事業

② 特別支援教育に関する専門的な資質・能力の育成

- ア 特別支援教育講座の実施
- イ 特別支援教育コーディネーター等連絡会の開催

③ 特別支援教育に関わる校内委員会の機能強化と個別の支援体制の充実

- ア 学校教育支援員の継続配置

- イ 個別的教育支援計画及び指導計画に基づいた校内体制による適切な支援
- ④ 家庭との連携による将来を見据えた継続的な就学支援の充実
 - ア 個に対応した適正な就学支援の推進
 - イ 関係機関との連携による就学相談の実施
 - ウ 保護者対象の就学相談会の実施（６月、７月）
- （７）教育課題解決に係る施策の実施・調査・研究
 - ① 中学校ブロックにおける鶴岡型小中一貫教育の実施支援
 - ② 「学びの多様化学校（不登校特例校）」および「教育支援センター」の調査・研究
- （８）家庭教育との連携推進による基本的生活習慣の確立を図る幼児教育の充実
 - ① 幼・保・小連携による研修の充実
 - ア 幼児教育振興事業（幼児教育連絡協議会、幼保小連携推進研修会等）
 - ② 「架け橋プログラム」実施に伴う支援
- （９）心豊かで思いやりのある青少年の育成と地域の教育力の活性化推進
 - ① 青少年の健全な心身や主体性の育成
 - ア 青少年育成センター運営事業（相談業務・街頭指導）
 - ② 地域社会における青少年育成活動の推進
 - ア 青少年健全育成事業（青少年育成市民会議、青少年育成推進員連絡協議会）
- （１０）地域とともにある「チーム学校」の推進
 - ① 学校・保護者・地域の連携による学校づくりの推進
 - ア 学校運営協議会の充実（１１中学校ブロック）
 - ② 学校を支える外部人材の活用
 - ア 学校教育支援員・校内教育支援センター支援員の配置拡充
 - イ 外国人子女教育支援員の継続配置
 - ウ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの継続配置
 - エ 部活動指導員・地域クラブ指導員の継続配置
- （１１）健やかな成長を育む学校給食づくり
 - ① 望ましい食習慣や食に関する知識を身につける食育の充実
 - ア 学校訪問による栄養指導の実施
 - ② 学校・家庭との連携による給食内容の充実
 - ア 給食だより、ホームページ等を活用した情報の発信
 - イ 献立作成委員会の開催
 - ウ 小・中学校希望献立の実施
 - ③ 食育と地産地消の推進
 - ア 地域の食文化を取り入れた郷土食や行事食の提供
 - イ 「鶴岡市食文化創造都市推進プラン」に沿った食育の充実と地場産品の積極的な使用
 - ウ ユネスコ食文化創造都市にふさわしい食育・食文化の具現化
 - エ 生産者等による講話、実演、交流給食の推進
 - ④ 衛生管理と事故防止の徹底
 - ア 安全衛生基準の厳守と食物アレルギーへの対応、異物混入の防止
 - イ 安全衛生研修会の開催と業者訪問（衛生指導）等の実施
 - ウ 食材の安全性の確認

- ⑤ 給食業務の効率化と給食施設の最適な配置の推進
 - ア 調理業務・搬送業務等の民間委託の継続
 - イ 新学校給食センター整備基本計画に基づいた給食施設の最適な配置の推進
- ⑥ 新鶴岡市学校給食センターの整備
 - ア 新学校給食センター整備基本計画の策定
- ⑦ 施設・設備等の修繕及び更新
 - ア 将来的な各地域学校給食センターの統合を見据えた施設・設備等の計画的な修繕及び更新
 - イ 食缶・食器等の計画的な更新
- ⑧ 子育て世代の教育費の負担軽減
 - ア 学校給食費の完全無償化の継続
- ⑨ 給食費の過年度未納額の適切な管理
 - ア 給食費過年度未納額の催告と納付指導
- (12) 教育環境の整備充実
 - ① 教育環境に配慮した学校改築・改修の推進
 - ア 施設の計画的な改築事業
 - イ 藤島地域義務教育学校新築に向けた調査設計の実施
 - ② 学校施設の適切な維持管理
 - ア 小・中学校の既存施設の長寿命化に向けた営繕改良の実施
 - イ 学校施設の維持管理経費の節減に向けた省エネルギーの推進
 - ③ 教育活動に係る教材・教具等の整備充実
 - ア 各教科の教材・教具物品、学校図書等の整備充実
 - ④ 通学対策の充実
 - ア スクールバスの運行の確保及び通学費の助成
 - イ スクールバスの計画的な整備・更新
 - ウ 通学時の安全確保に向けた関係機関・団体等との連携の強化
 - エ 熱中症対策としての運行継続及び鳥獣被害対策を目的とした運行拡大
 - ⑤ 学校施設の利活用に係る管財業務
 - ア 学童保育・放課後子ども教室への対応
 - イ 学校開放事業の適切な実施
 - ウ 学校統合による閉校校舎等の利活用への対応
 - ⑥ 修学資金の返還支援
 - ア 山形県若者定着奨学金返還支援事業の推進
- (13) 今後の「学校の在り方」の検討
 - ① 鶴岡型小中一貫教育の教育的効果等を踏まえた今後の「学校の在り方」の検討
 - ② 藤島地域義務教育学校開校準備委員会の設置及び運営

2 市民の多様な学習環境づくりの推進

市民一人一人の生涯にわたる学びの環境を整え、日常生活や地域づくりの課題に取り組む機会を提供します。さらに、地域の歴史や文化等の学習を通し、自らの地域に対する誇りを醸成します。

また、市民と地域社会のニーズに応じた様々な学習情報を提供し、世代を超えて市民が楽しく学習、交流するとともに、地域づくりを支える学習活動の拠点づくりを推進します。

地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を支援していく意識づくりを進めるとともに、本市の豊かな自然環境のなかでの多様な学びや体験の場を設け、感性豊かな心身ともに元気で逞しい子どもの育成を図ります。

そのために、公民館や図書館等の社会教育施設及びコミュニティセンター等において、職員の体制整備や資質向上を図りながら、地域資源の活用をはじめ、地域特性を踏まえた多様で体系的な学習事業の充実と学びの成果を発揮する機会の提供に努めます。

(1) 社会教育施策の充実と社会教育関係団体への支援

- ① 社会教育委員会議の開催
- ② 社会教育関係団体の活動支援
- ③ 社会教育関係職員の研修の充実

(2) 市民の学習を促進する社会教育事業の展開

- ① 生涯学習振興事業
 - ア 生涯学習講座の開催
 - イ 学習情報の提供
- ② 青少年教育事業
 - ア 地域の資源を活かした学習事業、体験事業の充実
 - イ 県や市社会福祉協議会と連携した青少年ボランティア活動の推進
 - ウ 大鳥自然の家における自然環境教育の推進
- ③ 住民が主体となった学習活動の支援
 - ア コミュニティ推進団体等への学習支援
 - イ コミュニティ推進団体職員、生涯学習推進員等の研修の支援

(3) 家庭教育推進事業

- ① 学校、社会教育施設等における家庭教育支援講座の開催
- ② 地域子育て推進講演会の開催
- ③ ブックスタート事業の実施

(4) 学校・家庭・地域の連携協働事業の推進

- ① 地域学校協働活動の実施及び支援
- ② 放課後子ども教室の実施及び支援
- ③ 地域未来塾の実施及び支援

(5) 市民の多様な学習ニーズを支え読書活動を推進する図書館づくりと、地域に根ざした郷土資料館づくり

- ① 図書館サービスの充実と市民の読書活動の推進
 - ア 本館・分館の連携による図書館サービスの充実
 - イ 移動図書館「やまびこ号」の運行
 - ウ レファレンスサービスの充実
 - エ ホームページやSNSの充実による図書館情報の発信
 - オ ボランティア団体の育成と協働事業の実施
 - カ 市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実
 - キ 市民の読書活動推進事業の実施

- ク 対面朗読ボランティア派遣事業
- ケ 施設、サークル等への団体貸出の実施
- コ 郷土出身作家コーナーの充実
- サ アドバイザーによる運営支援と研修の実施
- シ 新たな利用者や図書館で活動する人を増やす事業の実施
- ② 子どもの読書活動の推進
 - ア 第3次子ども読書活動推進計画の推進
 - イ 7か月健康相談時でのブックスタート事業への協力
 - ウ 保育園、幼稚園、その他子どもの読書活動推進団体との連携・協力
 - エ 学校との連携による子どもの読書活動の推進
 - オ 10代（ヤングアダルト：YA）向け図書の実充と活用
 - カ 子どもの読書活動に対する理解啓発と情報発信
- ③ 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用
 - ア 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
 - イ 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
 - ウ 郷土資料散逸防止の啓発
- ④ 郷土史研究の情報拠点としての事業の推進
 - ア 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
 - イ 企画展示等による市民への資料公開
 - ウ 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知
 - エ 歴史講演会等を通じた新たな研究成果の提供
- ⑤ 所蔵史料の利用促進
 - ア 所蔵史料のデータベース化
 - イ 所蔵資料の資料目録発行に向けた整理・調査の継続
 - ウ 所蔵資料のデジタル化
 - エ 諸家文書目録の利用促進
- ⑥ 郷土理解の推進と地域文化の振興
 - ア 古文書読解及び郷土史関連の講座の開催
 - イ 庄内歴史懇談会、温故の会等、郷土史関係団体への協力連携
- ⑦ 図書館・郷土資料館の良好な施設環境の整備
 - ア 快適な読書環境の提供と適切な施設管理
 - イ 新たな収蔵庫の活用による郷土資料の適切な保存

（6）生涯学習の魅力ある拠点づくり

- ① 中央公民館事業の実充
 - ア 地域課題等に即した多様な学習機会や繋がりの方会の提供（市民講座）
 - イ 生涯学習団体等の活動支援
 - ウ 市民の多様な芸術文化活動への支援
 - エ 子どもの多様な学習体験の促進
 - オ 青年を対象とした学習及び交流の推進（鹿児島市青年受け入れ）
 - カ 女性の活躍やスキルアップのための支援
 - キ 視聴覚教材を活用した学びの支援
 - ク プラネタリウムを活用した天文知識の習得や癒しの場の提供

- ケ デジタル技術を活用した利用者の利便性の向上（貸館予約のオンライン化）
- コ 利用者が安全安心かつ快適に利用できる環境の維持管理と適切な修繕（空調設備改修工事）
- ② 生涯学習センターにおける生涯学習の推進
 - ア 地域住民のニーズに応じた各種講座、交流事業等の実施
 - イ 地域課題に応じた各種講座の実施及び学習活動等の推進
 - ウ 芸術文化活動等の推進（地域文化祭、舞台・展示発表等）
 - エ 教育・学習活動に係る情報提供及び支援
- ③ コミュニティセンター、地域活動センターにおける生涯学習の推進
 - ア 地域住民のニーズに応じた各種講座、交流事業等の実施に係る支援
 - イ 地域課題に対する学習活動等の実施に係る支援
 - ウ 各施設における教育・学習活動の奨励、情報提供及び指導

3 豊かな感性を育む文化芸術の振興

優れた芸術文化の創造と鑑賞機会の充実、歴史に育まれた伝統文化の継承と文化財の保存・活用を図りながら、文化芸術の振興に努めます。

（１）創造性を育む芸術文化活動の振興

- ① 芸術文化振興事業
 - ア 鶴岡市芸術祭の開催、各地域文化祭、芸術祭の開催
 - イ 博物館展示事業への支援
 - ウ 山形交響楽団演奏会の開催
 - エ 小・中学生楽器講習会の開催
 - オ 芸術文化協会の運営への支援
 - カ 第２期鶴岡市文化芸術推進基本計画の策定と推進
 - キ 中学校文化部活動の地域展開の推進
- ② 高山樗牛顕彰事業
 - ア 高山樗牛賞の授賞（高山樗牛賞・高山樗牛奨励賞）

（２）歴史に育まれた伝統文化と文化財の保存・継承・活用

- ① 文化財管理保存事業
 - ア 指定文化財の保存管理に係る指導・支援
 - イ 市所有指定文化財の保存修理
 - ウ 指定文化財保存修理事業への支援
 - エ 未指定文化財の調査
 - オ 文化財愛護思想の普及啓発
- ② 藩校致道館管理運営事業
 - ア 史跡の保存管理と藩校資料の一般公開
- ③ 大宝館管理運営事業
 - ア 文化財建造物の保存管理と郷土出身人物の紹介・顕彰事業の推進
- ④ 東田川文化記念館運営事業
 - ア 史跡の保存管理と一般公開、文化事業の推進

- ⑤ 松ヶ岡開墾場管理運営事業
 - ア 史跡の保存管理と蚕室を活用した歴史展示・体験受入
 - ⑥ 丸岡城跡史跡公園管理運営事業
 - ア 史跡公園の保全管理
 - イ ガイダンス施設（市指定文化財日向家住宅）の一般公開
 - ⑦ 旧遠藤家管理運営事業
 - ア 文化財建造物の保存管理と一般公開
 - ⑧ 埋蔵文化財調査事業
 - ア 埋蔵文化財の分布調査、開発事業との調整
 - イ 出土品の分類・整理・保存作業
 - ウ 埋蔵文化財保護思想の普及啓発
 - ⑨ 民俗芸能等の保存伝承
 - ア 民俗芸能・伝統行事の保存伝承支援
 - イ 民俗芸能記録保存事業
- （３）文化活動の中核施設の活用・充実
- ① 文化会館管理運営事業
 - ア 「支える 育てる 高める」未来につなぐ芸術文化の拠点の実現に向けた取組みの推進
 - イ 舞台芸術等を中心とした市民の多様な芸術文化活動の支援
 - ウ 未来の芸術文化の担い手の育成
 - エ 多様な芸術文化を体験する機会の提供
 - オ 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
 - カ 芸術文化を通じて交流できる場、にぎわいへとつながる事業の創出
 - キ 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための施設環境の整備
 - ② 鶴岡アートフォーラム管理運営事業
 - ア 展示系拠点施設としての機能充実
 - イ 展示事業（市民ギャラリー事業、自主企画展示、郷土芸術に関する展示等）の推進
 - ウ 学習・普及事業（児童生徒の芸術学習、各種制作講座、普及啓発事業等）の推進
 - エ 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕
- （４）文化資源の保存・研究基盤の整備
- ① 文化資料調査事業
 - ア 文化資料の調査並びに保存活用の検討
 - イ 公益性の高い歴史資料、文化資源に関する調査研究活動の促進
 - ② 藤沢周平記念館管理運営事業
 - ア 藤沢周平氏の作品世界と生涯を紹介するための展示とソフト事業の実施
 - イ 藤沢周平氏没後30年事業の推進・生誕100年記念事業に向けた準備調整
 - ウ 藤沢文学を入口とした地域の文化・風土への道案内や情報発信の実施
 - エ 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕

4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

第２期スポーツ推進計画に基づき、市民一人一人の目的や志向に応じて、スポーツやレ

クリエーション活動を通じたコミュニティとしての場を提供し、健康につながる生涯スポーツを推進します。

地域の活力となる競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じた交流を促進します。

誰もが安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう整備を進めるとともに、充実した管理運営を推進します。

スポーツ活動を通じた豊かな生活と地域活性化につながる環境づくりを進めます。

(1) 市民の健康につながる生涯スポーツの充実

① 個人のライフスタイルに合わせたスポーツ活動への動機づけによるスポーツ実施率の向上

ア スポーツに親しむきっかけづくりの推進

イ 運動習慣の定着化に向けた市民参加型イベントの実施

ウ 安全・安心にスポーツに取り組むための熱中症対策・感染症対策等の普及・啓発

② 市民の誰もが気軽にスポーツに親しめるコミュニティとしての「場づくり」等機会の提供

ア すべての市民が安心してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備

イ ボッチャの普及等を通じた障害者スポーツの振興と共生社会の実現

③ 楽しさ、喜び、自発性に基づき本質的な「スポーツそのものが有する価値」（ウェルビーイング）が高まるプログラムの提供

ア 関係機関と連携したパラスポーツや軽スポーツの普及促進

イ 鶴岡ウォーカーポイントカードによるインセンティブの提供

ウ スマホアプリを活用したインセンティブの提供

（つるおか健康ポイントの普及・啓発）

(2) 地域の活力となる競技スポーツの振興

① 地元選手の競技力向上、強化組織育成、指導者の資質向上、トップアスリート育成の取組み

ア 鶴岡市スポーツ協会及び鶴岡市スポーツ強化後援会等の活動支援

イ 国際大会や全国大会で活躍できる選手の育成強化と指導者の養成及び資質の向上

ウ 競技団体等における審判員の資質向上に向けた取組みへの支援

エ スポーツ表彰制度によるスポーツ活動の推進

オ 競技水準の高い各種競技大会の開催支援と協力体制の確立

カ スポーツ活動における暴言・暴力行為の根絶やハラスメントの防止に向けた啓発及び研修会等の開催支援

キ 山形県縦断駅伝競走大会鶴岡田川チームへの支援

ク 「山形県スポーツタレント発掘事業」への協力

② 本市出身トップアスリートの市内定着・回帰への環境づくり

ア トップアスリート及びその育成にあたった指導者の活躍の促進

イ 地元企業等と連携したトップアスリートのキャリアを生かした活動の支援

③ トップチーム等の大会・合宿誘致による地元アスリートの競技意識の高揚、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）による交流の継続

ア 「国際バドミントンU16」の開催支援

イ 女子バレーボールチーム「アランマーレ秋田庄内」との連携

- ウ プロサッカーチーム「モンテディオ山形」との連携
- エ 企業・大学等の合宿誘致の推進と活動支援
- オ 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国をはじめとするスポーツを通じた国際的な交流の推進

(3) 充実したスポーツ施設の管理運営

- ① 人工芝グラウンドを整備し、共生社会のもとで多目的に利用できる環境づくりの取り組み
 - ア 市民ニーズに沿った施設の整備充実
 - イ 人工芝グラウンド整備の機能充実
 - ウ 共生社会のもとでの施設の整備充実
 - エ 多目的利用可能な機能充実
- ② 共生社会に向けた施設機能や利用者の安全確保を目指した既存スポーツ施設の修繕・改修
 - ア 指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営の推進
 - イ 共生社会に向けた施設の改修
 - ウ 利用者の安全確保に向けた施設の修繕・改修の推進
 - エ 全国大会・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の修繕・改修の推進
- ③ 地域住民が利用しやすい学校体育施設を含めたスポーツ施設の有効な活用と老朽化した施設の再配置の検討
 - ア 学校体育施設開放等による有効活用の推進
 - イ プールや陸上競技場等老朽化した施設の再配置を含めた整備と機能充実に向けた検討
 - ウ 市民ニーズに沿った施設整備の取り組み
 - エ 利用者ニーズに沿ったトレーニングルームの機器整備の充実
 - オ 支援が必要な利用者に対する施設使用料減免の推進

(4) 地域に関わるスポーツ環境の充実

- ① 市民が主体的にスポーツ活動のできる環境の整備
 - ア 総合型地域スポーツクラブの活動・自立支援
 - イ 学区・地区・地域体育協会等の活動支援及び主催スポーツ行事の開催支援
 - ウ スポーツ推進委員の資質の向上
 - エ スポーツボランティア活動の普及
 - オ 「鶴岡市民総合体育大会」の開催支援
 - カ 「鶴岡市駅伝競走大会」の開催
 - キ スポーツ団体の組織運営への指導
- ② 子どもがスポーツ活動を楽しめる環境の整備
 - ア 幼児期からの発達過程を踏まえた身体活動の促進
 - イ スポーツ少年団活動の支援
 - ウ 子どもたちの体力向上に向けた普及啓発
 - エ 「子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡」の開催
- ③ 中学校運動部活動の地域展開の推進
 - ア 受け皿となる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等への支援
 - イ 熱中症対策・感染症対策等も含めた安全なスポーツ活動実施のための指導
- ④ 地域の自然や文化に触れるスポーツツーリズムによる地域活性化や市民が主体的に参画するスポーツの環境づくり

- ア 「てくてく健康里山あるき」等ウォーキング事業の充実
- イ 「市民登山」の開催支援
- ウ スキー・ヨット教室等の地域性を活かしたスポーツ活動の支援
- エ （一社）日本ウォーキング協会公認「みんなで歩こう！里山あるき」の開催
- オ 「国際ノルディック・ウォークin鶴岡」の開催
- カ 「ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」の開催
- キ 全国大会・東北大会等の開催誘致
- ク 「する」「みる」「ささえる」スポーツの情報発信の充実

5 教育関係施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

各種教育施策の現状と将来像を見据えながら、教育関係施設が有効かつ安全に機能するように適切な維持管理を行い、最適な配置を推進します。

【丸数字以下の項目は、1～4の再掲】

（1）給食施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

① 新鶴岡市学校給食センターの整備

- ア 新学校給食センター整備基本計画の策定
- イ 新学校給食センター整備基本計画に基づいた給食施設の最適な配置の推進

② 施設・設備等の修繕及び更新

- ア 将来的な各地域学校給食センターの統合を見据えた施設・設備の計画的な修繕及び更新

（2）学校施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

① 教育環境に配慮した学校改築・改修の推進

- ア 施設の計画的な改築事業
- イ 藤島地域義務教育学校新築に向けた調査設計の実施

② 学校施設の適切な維持管理

- ア 小・中学校の既存施設の長寿命化に向けた営繕改良の実施
- イ 学校施設の維持管理経費の節減に向けた省エネルギーの推進

③ 今後の「学校の在り方」の検討

- ア 鶴岡型小中一貫教育の教育的効果等を踏まえた今後の「学校の在り方」の検討

（3）図書館施設の適切な維持管理

① 図書館・郷土資料館の良好な施設環境の整備

- ア 快適な読書環境の提供と適切な施設管理
- イ 新たな収蔵庫の活用による郷土資料の適切な保存

（4）中央公民館施設の適切な維持管理

① 中央公民館管理運営事業

- ア 利用者が安全安心かつ快適に利用できる環境の維持管理と適切な修繕（空調設備改修工事）

（5）文化財の適切な維持管理

① 藩校致道館管理運営事業

- ア 史跡の保存管理

- ② 大宝館管理運営事業
 - ア 文化財建造物の保存管理
- ③ 東田川文化記念館運営事業
 - ア 史跡の保存管理
- ④ 松ヶ岡開墾場管理運営事業
 - ア 史跡の保存管理
- ⑤ 丸岡城跡史跡公園管理運営事業
 - ア 史跡公園の保全管理
- ⑥ 旧遠藤家管理運営事業
 - ア 文化財建造物の保存管理
- (6) 文化施設の適切な維持管理
 - ① 文化会館管理運営事業
 - ア 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための施設環境の整備
 - ② 鶴岡アートフォーラム管理運営事業
 - ア 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕
 - ③ 藤沢周平記念館管理運営事業
 - ア 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕
- (7) スポーツ施設の適切な維持管理と最適な配置の推進
 - ① 人工芝グラウンドを整備し、共生社会のもとで多目的に利用できる環境づくりの取り組み
 - ア 市民ニーズに沿った施設の整備充実
 - イ 人工芝グラウンド整備の機能充実
 - ウ 共生社会のもとでの施設の整備充実
 - エ 多目的利用可能な機能充実
 - ② 共生社会に向けた施設機能や利用者の安全確保を目指した既存スポーツ施設の修繕・改修
 - ア 指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営の推進
 - イ 共生社会に向けた施設の改修
 - ウ 利用者の安全確保に向けた施設の修繕・改修の推進
 - エ 全国大会・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の修繕・改修の推進
 - ③ 地域住民が利用しやすい学校体育施設を含めたスポーツ施設の有効な活用と老朽化した施設の再配置の検討
 - ア プールや陸上競技場等老朽化した施設の再配置を含めた整備と機能充実に向けた検討
 - イ 市民ニーズに沿った施設整備の取り組み
 - ウ 利用者ニーズに沿ったトレーニングルームの機器整備の充実

◎ 時代の要請を踏まえた開かれた教育行政の推進・充実

社会情勢の変化に柔軟に対応し、教育行政を適切に運営するため、組織体制の整備・充実を図ります。

多様化する市民ニーズや課題に対応し、教育行政の運営を開かれたものとするため、各

般の教育施策に関して、広報と市民ニーズの把握・反映を図ります。

(1) 時代の要請に応じた教育行政の推進・充実

① 円滑な組織運営体制の充実

- ア 各課・各機関・各施設と関係団体等との連携強化による適切で効果的な業務推進
- イ 学校への統一のシステム導入による学校会計の効率化・透明化の実施
- ウ ICT活用等、社会動向を踏まえた制度改革、運営手法の見直し

② 危機管理体制の強化

- ア 適切な災害対応、事件、事故等の未然防止のための組織的危機管理体制の整備
- イ 災害時の避難所となる学校の防災設備の整備

③ 職員の資質向上と健康管理

- ア 新しい情報や技術の進歩に対応し、資質を向上するための職員研修の実施
- イ 職員の健康管理、職場倫理に対する意識啓発

(2) 開かれた教育行政の推進

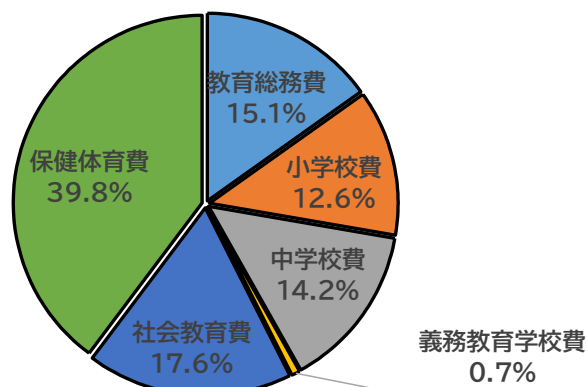
① 的確な教育行政情報の提供

- ア 市民に向けた教育広報紙の発行（市広報に折込み）
- イ 教育概要「つるおかの教育」の発行
- ウ ホームページによる迅速な情報の発信

② 市民ニーズの的確な把握と教育行政への反映

- ア 各種懇談会等の機会をとらえての市民ニーズの集約と反映

Ⅲ 教 育 予 算（令和8年度当初）



一般会計総額 79,110,000千円 うち、教育費総額 8,880,552千円

(単位:千円)

教育総務費	1,342,501	小学校費	1,119,909	中学校費	1,257,083
教育委員会費	5,129	学校管理費	539,337	学校管理費	299,687
事務局費	1,330,747	教育振興費	516,072	教育振興費	581,518
青少年健全育成費	6,496	学校建設費	64,500	学校建設費	375,878
幼稚園費	129				
義務教育学校費	64,600	社会教育費	1,563,337	保健体育費	3,533,122
学校建設費	64,600	社会教育総務費	480,601	保健体育総務費	151,916
		公民館費	265,370	体育施設費	1,740,537
		図書館費	46,845	学校給食センター費	1,640,669
		文化費	213,055		
		文化施設費	557,466		

■学校教育関連施設

●小 学 校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	学 級 数		児童数(人)		校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	校地面積 (㎡)
	普 通	支 援	普 通	支 援			
朝 陽 第 一 小 学 校	18	7	481	33	7,701	1,358	24,830
朝 陽 第 二 小 学 校	10	6	218	18	6,562	1,426	29,908
朝 陽 第 三 小 学 校	18	7	509	26	7,221	1,558	20,837
朝 陽 第 四 小 学 校	18	7	500	39	6,895	1,604	22,409
朝 陽 第 五 小 学 校	12	6	323	29	6,230	1,405	23,964
朝 陽 第 六 小 学 校	17	4	458	21	5,877	1,108	27,290
斎 小 学 校	6	2	102	6	2,330	863	15,896
黄 金 小 学 校	6	2	61	2	2,076	847	22,040
大 泉 小 学 校	6	2	111	4	3,227	638	23,683
京 田 小 学 校	6	2	107	8	2,235	851	14,493
上 郷 小 学 校	6	2	69	3	2,014	676	15,661
豊 浦 小 学 校	6	2	64	3	2,270	884	23,800
湯 野 浜 小 学 校	6	2	66	3	3,331	1,119	20,814
大 山 小 学 校	12	5	279	12	4,271	978	18,757
西 郷 小 学 校	5	2	57	3	2,585	1,149	18,411
藤 島 小 学 校	9	2	233	7	4,119	995	27,861
東 栄 小 学 校	5	0	59	0	2,072	718	16,988
渡 前 小 学 校	4	2	41	7	2,284	719	18,391
羽 黒 小 学 校	6	2	161	7	4,318	1,429	33,617
広 瀬 小 学 校	6	3	131	5	3,399	1,064	22,369
櫛 引 東 小 学 校	5	2	52	3	3,104	1,089	17,457
櫛 引 西 小 学 校	6	4	158	12	3,506	1,150	22,804
櫛 引 南 小 学 校	6	2	53	4	2,930	968	22,907
あ さ ひ 小 学 校	6	3	83	4	3,178	780	23,561
あ つ み 小 学 校	6	2	76	4	2,939	1,123	21,162
鼠 ケ 関 小 学 校	4	2	39	2	3,739	1,228	22,983
計	215	82	4,491	265			

※ 面積の数値は施設台帳による。

●中学校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	学 級 数		生徒数(人)		校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	校地面積 (㎡)
	普 通	支 援	普 通	支 援			
鶴 岡 第 一 中 学 校	16	5	494	18	7,067	1,854	32,855
鶴 岡 第 二 中 学 校	11	4	328	20	7,861	1,937	30,352
鶴 岡 第 三 中 学 校	14	3	443	13	7,403	2,283	29,393
鶴 岡 第 四 中 学 校	9	4	254	11	6,264	1,799	28,119
鶴 岡 第 五 中 学 校	9	5	233	14	6,933	2,487	40,578
豊 浦 中 学 校	3	1	42	3	2,929	1,037	25,976
藤 島 中 学 校	7	2	193	2	5,101	1,356	27,849
羽 黒 中 学 校	7	2	163	6	5,138	1,668	53,481
櫛 引 中 学 校	6	2	151	5	4,861	2,330	41,962
朝 日 中 学 校	3	1	52	2	3,124	1,603	30,327
温 海 中 学 校	3	2	93	7	6,040	2,082	58,116
計	88	31	2,446	101			

● 鶴岡市教育センター

○教育研修所・理科教育センター（鶴岡市櫛引庁舎内）

- | | | | |
|---------|------|----------|-------------|
| 1. 施設概要 | 開設年月 | 教育研修所 | 昭和 32 年 4 月 |
| | | 理科教育センター | 昭和 39 年 4 月 |
| 2. 主要施設 | | 教育研修所 | 教育研修室 |
| | | 理科教育センター | |

○教育相談センター（マリカ東館内）

- | | | |
|---------|-------|--------------------------------|
| 1. 施設概要 | 開設年月日 | 平成 22 年 4 月 1 日 |
| | 延床面積 | 541.39 m ² |
| 2. 主要施設 | | 事務室、ロビー、学習室 1・2、相談室 1・2・3、研修室 |
| 3. 利用案内 | 開館時間 | 9 時～16 時 |
| | 休館日 | 土・日・祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） |

● 鶴岡市学校給食センター

- | | | |
|---------|------|----------------------|
| 1. 施設概要 | 開設年月 | 昭和 62 年 4 月 |
| | 敷地面積 | 8,148 m ² |
| | 建物面積 | 3,110 m ² |
| | 構造 | 鉄骨造二階建 |
| 2. 主要施設 | 調理方式 | 一棟二調理室、ドライ方式 |
| | 調理能力 | 14,000 食／1 日 |



3. 実施状況

(1) 給食実施数（令和 8 年 5 月 1 日現在）

区 分	学 校 数	学 級 数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小 学 校	17	174	4,348	100
中 学 校	8	83	2,595	100
センター			59	
計	25	257	7,002	

(2) 給食実施形態 完全給食週 5 回

主食の実施状況 供給体制の変更により、1 学期は米飯、パンを交互に実施。
2 学期からは米飯の供給体制を整備し、パンについては
月に 1～2 回程度、不定期かつ限定的な実施とした。

※平成 24 年 4 月から羽黒地域の給食調理業務をセンターに統合

(3) 施設・設備

①牛乳用保冷库全校に配置

②ランチルーム保有校（小学校 6 校、中学校 1 校）

朝陽第二小学校、京田小学校、豊浦小学校、湯野浜小学校、羽黒小学校、広瀬小学校、
豊浦中学校

③学級用個人食器具

クラス用 ステンレス食缶 2、バット大 2、おたま 2、トンゴ 2、ごはんべら 2

個人用 a 椀 1、皿 1、米飯用椀 1

b はし箱（丸スプーン、はし）・・・個人管理

c トレー・・・・・・・・・・・・・・学校管理

● 藤島ふれあい食センター（愛称：サンサン）

1. 施設概要 開設年月 平成14年4月
敷地面積 2,994 m²
建物面積 1,334 m²
構造 鉄骨造二階建
2. 主要施設 調理方式 ドライ方式
調理能力 1,500食／1日



3. 実施状況

(1) 給食実施数（令和8年5月1日現在）

区 分	学 校 数	学 級 数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小 学 校	3	18	400	100
中 学 校	1	7	219	100
保 育 園	1	5	122	100
幼 稚 園	1	3	34	95
福祉施設	1		25	100
センター			3	
計	7	33	803	

(2) 給食実施形態 完全給食週5回

主食の実施状況 供給体制の変更により、米飯を主とした提供とし、
パンについては、不定期かつ限定的な提供とした。

※平成25年4月から給食調理業務を民間委託実施

※食材を納入する「サンサン・畑の会」が令和3年度学校給食表彰（文部科学省）を受賞

(3) 施設・設備

①牛乳用保冷库全校に配置

②ランチルーム保有校（小学校2校）

東栄小学校、渡前小学校

③学級用個人食器具

ク ラ ス 用 保温二重食缶1、バット大小各1、おたま、トング、ごはんべら1～2

個 人 用 a 椀1、大皿1、中皿1、米飯用椀1

b はし箱（丸スプーン、はし）・・・個人管理

c トレー・・・センター管理

(4) 使用食器 強化磁器

● 櫛引学校給食センター

1. 施設概要 開設年月 平成8年4月
敷地面積 1,188 m²
建物面積 475 m²
構造 鉄骨造平屋建
2. 主要施設 調理方式 ドライ方式
調理能力 1,200食／1日



3. 実施状況

(1) 給食実施数（令和8年5月1日現在）

区 分	学 校 数	学 級 数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小 学 校	3	18	334	100
中 学 校	1	6	179	100
センター			13	
計	4	24	526	

(2) 給食実施形態 完全給食週5回

主食の実施状況 供給体制の変更により、米飯を主とした提供とし、パンについては、不定期かつ限定的な提供とした。

※平成23年4月から給食調理業務を民間委託実施

(3) 施設・設備

①牛乳用保冷库・おぼん用消毒保管庫全校に配置

②ランチルーム保有校（小学校3校）

櫛引東小学校、櫛引西小学校、櫛引南小学校

③学級用個人食器具

ク ラ ス 用 保温二重食缶1、バット大2、おたま3、トンゴ2、ごはんべら2

個 人 用 a 椀1、大皿1、中皿1、小皿1、米飯用椀1

b はし箱（丸スプーン、はし）・・・個人管理

c トレー・・・・・・センター管理（洗浄後、配送し学校で保管）

● あさひ給食センター

1. 施設概要 開設年月 平成13年4月

敷地面積 1,614㎡

建物面積 559㎡

構 造 鉄骨造二階建

2. 主要施設 調理方式 ドライ方式

オール電化

処理能力 1,000食／1日



3. 実施状況

(1) 給食実施数（令和8年5月1日現在）

区 分	学 校 数	学 級 数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小 学 校	1	6	106	100
中 学 校	1	3	67	100
センター			11	
計	2	9	184	

(2) 給食実施形態 完全給食週5回

主食の実施状況 供給体制の変更により、米飯を主とした提供とし、パンについては、不定期かつ限定的な提供とした。

※平成23年4月から給食調理業務を民間委託実施

(3) 施設・設備

①牛乳用保冷库全校に配置

②学級用個人食器具

クラス用 アルミ二重食缶、シャトルコンテナ、コンテナ、保温箱、おたま、トング、ごはんべら

個人用 a 椀1、仕切皿1、米飯用椀1、カレー皿1、どんぶり1、小皿1

b はし箱（丸スプーン、はし）・・・個人管理

c トレー・・・・・・・・・・センター管理

(4) 使用食器 強化磁器（カレー皿のみ）

● あつみっこ給食センター

1. 施設概要 開設年月 平成14年1月

敷地面積 2,017㎡

建物面積 573㎡

構造 鉄骨造平屋建

2. 主要施設 調理方式 ドライ方式

調理能力 1,000食／1日

3. 実施状況

(1) 給食実施数（令和8年5月1日現在）

区分	学校数	学級数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小学校	2	9	150	100
中学校	1	6	112	100
センター			3	
計	3	15	265	

(2) 給食実施形態 完全給食週5回

主食の実施状況 供給体制の変更により、米飯を主とした提供とし、パンについては、不定期かつ限定的な提供とした。

※平成24年4月から給食調理業務を民間委託実施

(3) 施設・設備

①牛乳用保冷库全校に配置

②学級用個人食器具

クラス用 アルミ食缶1、バット2、大杓子2、穴杓子1、おたま2、ごはんべら2、トング1、お盆1、ボール1

個人用 a 汁椀1、皿2（カレー皿・仕切り皿）、米飯用椀1

b はし箱（丸スプーン、はし）・・・個人管理

c トレー・・・・・・・・・・センター管理



● 莊銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）



- | | | | |
|-------------------|-------|---|---|
| 1. 施設概要 | 開設年月日 | 平成 29 年 10 月 1 日
(グランドオープン 平成 30 年 3 月 18 日) |  |
| | 敷地面積 | 13,096.84 ㎡ | |
| | 建物面積 | 5,756.35 ㎡ | |
| 2. 主要施設 | 観客席 | 大ホール固定席 1,120 席、多目的鑑賞室 15 席 | |
| | 舞台 | 間口 18m 奥行 18m オーケストラピット付 | |
| | 楽屋 | 6 室 (1 : 85 ㎡、2 : 32 ㎡、3 : 24 ㎡、4 : 26 ㎡、5 : 38 ㎡、6 : 44 ㎡) | |
| | その他 | 小ホール(最大 180 席)、会議室 2 室、練習室 2 室、託児室 | |
| 3. 利用案内 | 開館時間 | 9 時～22 時 | |
| | 休館日 | 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日) | |
| | 使用料 | 次表のとおり | |
| 4. 利用状況 (令和 7 年度) | | 541 件 65,295 人 ※自主事業と貸館利用の合計 | |

(使用料は令和8年10月1日から適用)

区 分 【冷暖房別】			基 本 使 用 料 (円)					
			午前	午後	夜間	全日	時間使用	
			9 時～ 12 時	13 時～ 17 時	18 時～ 22 時	9 時～ 22 時	1 時間につき	
大ホール	入場料等 0～500円	平日	14,850	27,280	34,760	68,310	区分の前後に引き続 き使用する場合 ①9：00～12：00 午前区分の1/3の額を 加算 ②12：00～17：00 午後区分の1/4の額を 加算 ③17：00～22：00 夜間区分の1/4の額を 加算 ④5：00～9：00 全日区分の2/11の額 を加算 ⑤22：00～5：00 全日区分の3/11の額 を加算	
		休日等	17,820	32,780	41,690	81,950		
	入場料等 501～1,000円	平日	20,900	38,280	48,620	95,590		
		休日等	25,080	45,980	58,300	114,730		
	入場料等 1,001～3,000円	平日	26,840	49,170	62,590	122,980		
		休日等	32,230	58,960	75,130	147,620		
	入場料等 3,001～5,000円	平日	32,780	60,060	76,450	150,260		
		休日等	39,380	72,050	91,740	180,290		
	入場料等 5,000円超	平日	38,720	71,060	90,420	177,650		
		休日等	46,420	85,250	108,460	213,180		
	小ホール	入場料等 0円～500円	平日	4,840	8,800	11,220		22,000
			休日等	5,830	10,560	13,420		26,400
入場料等 501円～1,000円		平日	8,140	14,960	19,030	37,400		
		休日等	9,790	17,930	22,880	44,880		
入場料等 1,000円超		平日	9,570	17,600	22,440	44,000		
		休日等	11,440	21,120	26,950	52,800		
楽屋 (ホール利用時は1/2)		楽屋1	2,310	4,180	5,280	10,340		
		楽屋2～6	1,430	2,640	3,300	6,490		
練習室		練習室1	(1 時間につき) 1,180				⑥5：00～9：00 基本使用料の2倍の額	
		練習室2	(1 時間につき) 640					
会議室		会議室1	(1 時間につき) 570				⑦22：00～5：00 基本使用料の3倍の額	
		会議室2	(1 時間につき) 1,260					
託児室(ホール利用時は無料)			(1 時間につき) 420					
駐車場等(イベント等で使用时)			(1平方メートルあたり1時間につき) 5					

● 鶴岡アートフォーラム

1. 施設概要 開設年月日 平成 17 年 8 月 27 日
 敷地面積 7,040 m²
 建物面積 4,143 m²
2. 主要施設 展 示 ギャラリー 1（1 F）：485 m²
 ギャラリー 2（2 F）：486 m²
 エクステンションギャラリー（1 F）：271 m²
 各種イベント 交流広場・フォーラム（1－2 F）：236 m²
 制 作 アトリエ（1 F）：126 m²
 保 管 一時保管庫（1 F）：47 m²
 収蔵庫（2 F）：176 m²＋デッキ 78 m²
 会 議 大会議室（2 F）：96 m²
 会議室 1（2 F）：18 m²
 会議室 2（2 F）：27 m²
3. 利用案内 開館時間 9 時～21 時 30 分
 （ギャラリーは 18 時 30 分まで）
 休 館 日 月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日）
 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
 使 用 料 次表のとおり



撮影 篠澤 裕

[展示室使用料（令和 8 年 10 月 1 日から適用）]

区 分	基 本 使 用 料（円）			
	前半 9時から 13時30分まで	後半 13時30分から 18時30分まで	全日 9時から 18時30分まで	左記以外の時間 （1時間につき）
ギャラリー 1 A	2,530	2,790	4,830	690
ギャラリー 1 B	3,310	3,680	6,370	880
ギャラリー 1 C	3,310	3,680	6,370	880
ギャラリー 2 A	5,980	6,620	11,470	1,640
ギャラリー 2 B	4,710	5,220	8,910	1,260

[諸室使用料（令和 8 年 10 月 1 日から適用）]

区分	基 本 使 用 料（円）		
	1時間につき	夜間 17時から 21時30分まで	左記以外の時間 （1時間につき）
制 作 室	750	—	—
大会議室	630	—	—
会議室 1	120	—	—
会議室 2	180	—	—
交流広場	—	6,100	1,610

4. 利用状況（令和 7 年度）

事業区分	ギャラリー		諸 室	
	件 数	人 数	件 数	人 数
自主事業	23	23,417	239	2,975
貸館事業	41	31,865	1,046	14,688
合 計	64	55,282	1,285	17,663

○常設展示コーナー入場者数（令和7年度）

第1期（4/5～6/29）：2,697人 第2期（7/5～9/28）：2,860人

第3期（10/4～12/28）：2,353人 第4期（1/10～3/29）：2,150人 合計：10,060人

● 藤沢周平記念館

1. 施設概要 開設年月日 平成22年4月29日

敷地面積 1,719㎡

建物面積 929㎡

2. 主要施設 展示室 218㎡

展示準備室 32㎡

特別収蔵庫 178㎡

サロン 53㎡

会議室 26㎡

研究者閲覧室 27㎡

3. 利用案内 開館時間 9時～16時30分（受付終了時間）

休館日 水曜日（休日の場合は翌平日）

年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 （令和8年10月1日から適用）

大人	500円[350円]
大学生	200円[160円]
高校生以下	無料

※〔 〕は、20名以上の団体料金

年間入館券 1,500円（本人及び同伴者2名まで）



4. 利用状況（令和7年度）

（単位：人）

大人	高校生 大学生	中学生 以下※	団体割引 適用	障がい者 割引適用	年間 入館券 利用	施設連携 事業利用※	無料・ 全額 免除	計
8,071	140	275	438	228	1,086	1,762	607	12,607

※中学生以下は無料

● 中央公民館

1. 施設概要

開設年月日 昭和 59 年 7 月 1 日
敷地面積 5,075 m²
建物面積 4,395 m²
2. 主要施設

1 階：市民ホール（固定席 466 席、車いす席 6 席）、大視聴覚室、談話室
2 階：第 1・2 研修室、第 1・2 会議室、第 1・2 和習室、美術実習室
3 階：プラネタリウム室（固定席 78 席）、教材制作室、視聴覚室、スタジオ、視聴覚研修室
3. 利用案内

開館時間 9 時～22 時
休館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
4. 利用状況（令和 7 年度）（単位：人）

利用者区分	回数	人数
主催・共催事業（プラネタリウム含む）	371	10,998
市役所・教育関係	531	6,815
学校関係	87	3,668
官公庁・公共団体	4	160
福祉・補導等育成団体	0	0
消防・防犯・交通安全団体	0	0
青少年団体	0	0
女性団体	4	97
高齢者団体	25	686
スポーツ・レク団体	44	1,167
芸術文化・サークル等	1,364	21,719
産業労働団体	81	2,387
市民ギャラリー	4	610
公民館開放事業	359	1,436
合 計	2,874	49,743



● 中央公民館女性センター

1. 施設概要

開設年月日 昭和 57 年 4 月 1 日
敷地面積 2,138 m²
建物面積 964 m²
2. 主要施設

1 階：図書室、調理室、託児室、研修室 A・B
2 階：会議室、軽運動ホール、研修和室、講話室
3. 利用案内

開館時間 平日：9 時～22 時
第 2・4 土曜日：9 時 30 分～16 時（利用申込みがない場合は休館）
休館日 第 2・4 土曜日を除く土・日・祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
4. 利用状況（令和 7 年度）（単位：人）

利用者区分	回数	人数
主催・共催事業等	1,084	2,394
登録サークル利用	642	6,287
そ の 他	67	599
合 計	1,793	9,280



● 図書館本館・分館

(1) 本 館

- ・開設年月日 大正4年11月10日（現本館開館 昭和60年7月24日）
- ・図書収容能力 278,000 冊
- ・駐 車 場 55 台
- ・開 館 時 間 平日：9時30分～19時（12月～2月は9時30分～18時）
土・日・祝日：9時30分～17時
- ・休 館 日 月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
特別図書整理期間



<令和7年度利用状況>

- ・開 館 日 数 300 日
- ・入 館 者 数 167,144 人
- ・貸出利用者数 73,177 人
- ・貸 出 冊 数

(冊)

一般図書【計 171,271】		児童図書【計 94,597】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
169,170	2,101	82,992	11,605	2,002	267,870

≪自動車文庫≫

- ・開 設 日 数 141 日
- ・開 設 場 所 65ヶ所／延べ開設数 654ヶ所
- ・貸出利用者数 5,208 人
- ・貸 出 冊 数

(冊)

一般図書【計 7,398】		児童図書【計 24,029】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
5,498	1,900	9,866	14,163	0	31,427

(2) 藤島分館

- ・開 設 年 月 昭和46年4月
(東田川文化記念館に併設 平成8年6月)
- ・開 館 時 間 9時～17時
- ・休 館 日 月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

<令和7年度利用状況>

- ・開 館 日 数 308 日
- ・入 館 者 数 14,652 人
- ・貸出利用者数 4,583 人
- ・貸 出 冊 数



(冊)

一般図書【計 9,566】		児童図書【計 4,727】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
9,564	2	4,601	126	3	14,296

(3)羽黒分館

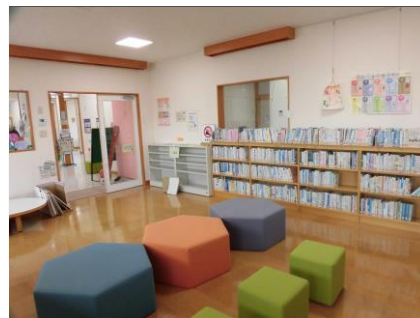
- ・開設年月日 平成 17 年 10 月 1 日
(羽黒庁舎に併設 平成 29 年 1 月 10 日)
- ・開館時間 9 時～18 時 (土・日・祝日は 9 時～17 時)
- ・休館日 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

<令和 7 年度利用状況>

- ・開館日数 357 日
- ・入館者数 9,506 人
- ・貸出利用者数 6,228 人
- ・貸出冊数

(冊)

一般図書【計 11,908】		児童図書【計 10,068】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
11,847	61	10,003	65	5	21,981



(4)櫛引分館

- ・開設年月 昭和 61 年 4 月
(櫛引情報センターに併設)
- ・開館時間 9 時～18 時 (土・日・祝日は 9 時～17 時)
- ・休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

<令和 7 年度利用状況>

- ・開館日数 308 日
- ・入館者数 6,296 人
- ・貸出利用者数 4,246 人
- ・貸出冊数

(冊)

一般図書【計 8,110】		児童図書【計 8,310】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
8,073	37	7,900	410	2	16,422



(5)朝日分館

- ・開設年月日 平成 17 年 10 月 1 日
(朝日中央コミュニティセンターすまいるに併設)
- ・開館時間 9 時～18 時 (土・日・祝日は 9 時～17 時)
- ・休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

<令和 7 年度利用状況>

- ・開館日数 308 日
- ・入館者数 4,406 人
- ・貸出利用者数 2,076 人
- ・貸出冊数

(冊)

一般図書【計 4,622】		児童図書【計 4,613】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
4,390	232	3,008	1,605	1	9,236



(6) 温海分館

- ・開設年月日 平成 17 年 10 月 1 日
(温海ふれあいセンターに併設)
- ・開館時間 9 時～17 時
- ・休館日 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

<令和 7 年度利用状況>

- ・開館日数 356 日
- ・入館者数 8,545 人
- ・貸出利用者数 5,182 人
- ・貸出冊数

(冊)

一般図書【計 11,884】		児童図書【計 4,703】		録音図書等	合 計
個 人	団体貸出	個 人	団体貸出		
11,798	86	2,551	2,152	157	16,744



(7) 本館・分館蔵書冊数 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

(冊)

本 館	藤島分館	羽黒分館	櫛引分館	朝日分館	温海分館	合 計
280,794	29,599	23,711	32,519	34,362	19,137	420,122

● 郷土資料館

1. 施設概要 開設年月日 昭和 51 年 6 月 1 日
(図書館本館に併設 平成 20 年 1 月 1 日)
2. 利用案内 開館時間 9 時 30 分～17 時
休館日 図書館本館と同じ
*郷土史の調査・研究のための史料を多く所蔵しており、閲覧に供し、相談を受け付けるとともに、郷土ゆかりの企画展示や各種講座を開催しています。



● 藤島農村環境改善センター

1. 施設概要 開設年月 昭和 58 年 4 月
敷地面積 12,216 m²
建物面積 1,140 m²
2. 主要施設 事務室、多目的ホール、生活改善実習室、婦人研修室、第 1・2・3 研修室、厨房、浴室
3. 利用案内 開館時間 9 時～22 時
休館日 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)
*宿泊が可能な施設であることと運動広場が併設されていることから、スポーツ団体 (スポ少、中高部活) の合宿等にも利用することができます。
4. 利用状況 (令和 7 年度)

利 用 団体数	利用人数		
	()は延べ人数	男	女
1	24 (24)	12 (12)	12 (12)



● 櫛引生涯学習センター（櫛引農村環境改善センター）

- 施設概要

開設年月	平成30年4月
敷地面積	3,390 m ²
建物面積	1,592 m ²
- 主要施設

多目的ホール、調理室、生活実習室、第1・2研修室、講座室、会議室、控室
- 利用案内

開所時間	9時～22時
休所日	年末年始（12月29日～1月3日）

＊300人収容可能な多目的ホールを備え、コンサートや演劇など各種公演や講演会等で利用が可能のほか、使用用途に合わせて利用できる部屋も備えているので、生涯学習の場として活用することができます。



4. 利用状況（令和7年度）

部 屋 名	利用件数	利用人数	部 屋 名	利用件数	利用人数
多目的ホール	343	13,042	第2研修室	1	30
控 室	121	1,356	講 座 室	165	1,639
調 理 室	61	571	会 議 室	102	791
第1・2研修室	105	2,313	そ の 他	40	1,964
第1研修室	2	82	合 計	940	21,788

● 大鳥自然の家

- 施設概要

開設年月日	昭和61年4月1日
敷地面積	19,324 m ²
建物面積	1,597 m ²
- 主要施設

体育館、食堂、宿泊室（5）
研修室（1）：定員80名
- 利用案内

休館日	年末年始（12月29日～1月3日）
-----	-------------------

＊カヌー、川遊び、魚つかみ、大鳥池登山、トレッキング、山菜採りなど、豊かな自然を活かした体験や学習ができます。
- 利用状況（令和7年度） 43件 1,959人



● 温海ふれあいセンター

- 施設概要

開設年月	平成元年12月
敷地面積	3,663.77 m ²
建物面積	2,041.74 m ²
- 主要施設

第1・2研修室、実習室、視聴覚室、第1・2会議室、多目的ホール、資料室、事務室、図書館温海分館
- 利用案内

開所時間	9時～22時
休所日	年末年始（12月29日～1月3日）

＊700人収容可能な多目的ホールを備え、コンサートや演劇など各種公演や講演会等で利用が可能のほか、使用用途に合わせて利用できる部屋も備えているので、生涯学習の場として活用することができます。
- 利用状況（令和7年度）



区分	第1・2 研修室	実習室	視聴覚室	第1・2 会議室	多目的 ホール	資料室	その他	合 計
人数	1,386	1,082	1,310	3,706	5,052	330	—	12,866

指定文化財一覧

1 国指定（文化財保護法によるもの）

（令和8年4月1日現在）

区 分			件数	備 考
有形文化財	国 宝	建 造 物	1	羽黒山五重塔
		工 芸 品	2	太刀 2口 「銘 信房作」、「銘 真光」
	重要文化財	建 造 物	9	水上八幡神社本殿、羽黒山正善院黄金堂、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅、鶴岡カトリック教会天主堂、羽黒山三神合祭殿及び鐘楼、旧風間家住宅、金峯神社本殿、旧鶴岡警察署庁舎
		絵 画	1	絹本着色「王昭君図」
		彫 刻	1	銅造如来立像
		工 芸 品	7	銅燈籠竿、短刀「銘吉光」、色々威胴丸、銅鉢、梵鐘、能装束(2件)
		書 跡	1	禅院額字「潮音堂」
		考古資料	1	銅鏡「羽黒山御手洗池出土」
	民俗文化財	重要無形民俗文化財		2
重要有形民俗文化財		8	庄内のぼんどりコレクション	116点
			庄内の木製酒器コレクション	77点
			庄内の仕事着コレクション	126点
			大宝寺焼コレクション	234点
			庄内及び周辺地のくりものコレクション	250点
			庄内浜及び飛島の漁撈用具	1,937点
			最上川水系の漁撈用具	810点
			庄内の米作り用具	1,800点
史跡・名勝 天然記念物	特 別 天 然 記 念 物	1	羽黒山のスギ並木	
	史 跡	4	旧致道館、松ヶ岡開墾場、小国城跡、旧東田川郡役所及び郡会議事堂	
	名 勝	3	金峯山、酒井氏庭園、玉川寺庭園	
	天 然 記 念 物	8	熊野神社の大スギ、文下のケヤキ、南谷のカスミザクラ、羽黒山の爺スギ、山五十川の玉スギ、早田のオハツキイチョウ、月山、三瀬気比神社社叢	
計			49	

2 県指定（県文化財保護条例によるもの）

区 分			件数
有形文化財	建 造 物		7
	絵 画		5
	彫 刻		12
	工 芸 品		30
	書 跡		4
	典 籍		3
	考 古 資 料		8
	歴 史 資 料		7
民俗文化財	無形民俗文化財		3
	有形民俗文化財		3
史跡・名勝 天然記念物	史 跡		6
	名 勝		1
	天 然 記 念 物		10
計			99

3 市指定（市文化財保護条例によるもの）

区 分			件数
有形文化財	建 造 物		11
	絵 画		30
	彫 刻		62
	工 芸 品		52
	書 跡		29
	典 籍		3
	古 文 書		41
	考 古 資 料		14
	歴 史 資 料		45
	無 形 民 俗 文 化 財		8
民俗文化財	有 形 民 俗 文 化 財		15
史跡・名勝 天然記念物	史 跡		24
	天 然 記 念 物		26
計			360

4 国登録（文化財保護法によるもの）

区 分			件数	備 考
有形文化財	建造物	26		石名坂家住宅主屋・（同）蔵、安良町公民館（旧鶴岡警察署大山分署）、風間家旧宅（丙申堂）表門・（同）西側板塀、旧鶴岡町消防組第八部消防ポンプ庫、風間家旧別邸無量光苑釈迦堂・（同）土蔵・（同）表門・（同）中門・（同）北門・（同）板塀、善寶寺龍王殿・（同）五百羅漢堂・（同）龍華庵・（同）五重塔・（同）山門・（同）総門、旧小池薬局恵比寿屋本店、羽前絹練株式会社事務所棟及び仕立棟・（同）精練棟・（同）染色棟（旧染色室及び旧汽罐室）・（同）第一仕上棟・（同）第二仕上棟・（同）検査棟・（同）土蔵

● 国指定史跡

旧致道館

1. 施設概要

指定年月日 昭和 26 年 6 月 9 日
 建 築 年 文化 13 年 (1816 年)
 現 存 建 物 表御門、西御門、東御門、
 聖廟、講堂、御入間

敷 地 面 積 7,034 m²

*講堂に藩校資料を展示し、致道館教育の特色を今に伝える。講堂の東側には、養老堂をはじめ現存しない校舎の主要な部分について、当時の建物の間取りを平面的に表示している。



2. 公 開

開 館 時 間 9 時～16 時 30 分
 休 館 日 水曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
 入 館 料 無料
 入 館 者 数 (令和 7 年度) 22,332 人

● 国指定史跡

旧東田川郡役所及び郡会議事堂

(東田川文化記念館)

1. 施設概要

指定年月日 令和 5 年 3 月 20 日
 建 築 年 明治 20 年 (1887 年)
 現 存 建 物 旧東田川郡役所、旧東田川郡会議事堂、旧東田川電気事業組合倉庫、土蔵

敷 地 面 積 5,592.83 m²

*郡庁舎と議事堂は復元工事により、当時の工法を忠実に再現し、明治から歩んできた文化や歴史を伝えている。

平成 8 年から東田川文化記念館として、地域連携講座やコンサートなど、広域的な人々の芸術文化、生涯学習の拠点として幅広く利用されている。



旧東田川郡役所及び郡会議事堂

2. 公 開 (1)山形県指定有形文化財 旧東田川郡役所

1 階 展示場及びギャラリー藤

開 館 時 間 9 時～16 時 30 分

(2)山形県指定有形文化財 旧東田川郡会議事堂

1 階 鶴岡市立図書館藤島分館

開 館 時 間 9 時～17 時

談 話 室

開 館 時 間 9 時～21 時 30 分

2 階 明治ホール

開 館 時 間 9 時～21 時 30 分

(3)管理棟 旧東田川郡電気事業組合倉庫

1 階 象のギャラリー・事務室

2 階 藤島の歴史(日本一の独木舟)展示

開 館 時 間 9 時～16 時 30 分

休 館 日 月曜日(休日の場合は翌平日)
 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

展 示 見 学 無料(施設利用一部有料)

解説ボランティア 要予約対応

入館者数(令和 7 年度) 11,612 人、図書館藤島分館 14,652 人

● 国指定史跡 松ヶ岡開墾場

1. 施設概要

指定年月日 平成元年8月11日
 建築年 明治8年(1875年)
 現存建物 一番蚕室、二番蚕室、
 三番蚕室、四番蚕室、
 五番蚕室、貯桑土蔵、
 寄宿舍 ほか

敷地面積 20,629 m²

*蚕室などを活用し、開墾や養蚕に関連した歴史展示や体験を行っている。

2. 公開

施設全般(一番蚕室を除き入館無料)

開館時間 9時～16時

休館日 水曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

一番蚕室(開墾記念館) (令和8年10月1日から適用)

入館料 個人 400円(中学生以下は無料)

団体 300円(20名以上を団体扱)

入館者数(令和7年度) 4,844人

四番蚕室(シルクミライ館)

入館者数(令和7年度) 22,991人

五番蚕室(蚕室構造見学施設)

入館者数(令和7年度) 6,463人



● 県指定史跡 丸岡城跡及び加藤清正墓碑

1. 施設概要

指定年月日 昭和38年1月22日

指定面積 16,038 m²

*丸岡城の御書院や御居間などの柱の礎石部分を表し、当時の建物の間取りを平面的に表示している。石敷き道路や水路などの一部は復元して、往時を偲ぶ丸岡城跡史跡公園として公開している。



● 県指定有形文化財 旧遠藤家住宅

1. 施設概要

指定年月日 昭和49年4月1日

建築年 文化文政年間

(1804年～1830年)と推定

構造 木造多層兜造茅葺

建物面積 419.86 m²

(1階 171.19 m²、

2階 127.20 m²、3階 121.47 m²)

*県内でも有数の豪雪地帯である田麦俣集落に数多く見られた「兜造り」の多層民家の代表的なものであり、江戸時代後期の文化文政年間に建築されたと推定される。屋根の妻側から見た姿が、武者のかぶった兜の姿に似ていることから兜造りと呼ばれ、狭い山峡の敷地と深い雪の生活に適応して三層四層に空間を求めている造りである。



2. 公 開 開 館 時 間 9 時～17 時
 休 館 日 月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
 入 館 料 個人 小・中学生 200 円、高校生以上 310 円
 団体 小・中学生 100 円、高校生以上 260 円(20 名以上を団体扱)
 (令和 8 年 10 月 1 日から適用)
 入 館 者 数 (令和 7 年度) 771 人

● 市指定有形文化財 大宝館

1. 施設概要 指定年月日 昭和 56 年 1 月 27 日
 建 築 年 大正 4 年 (1915 年)
 構 造 木造 2 階建
 建 物 面 積 534 m²
 *大正天皇の即位を記念して創建された
 洋風建築であり、大正建築の優美さを
 今に伝える。本市出身並びに本市の発
 展に貢献した方々の業績を紹介する施
 設として保存活用している。



2. 公 開 開 館 時 間 9 時～16 時 30 分
 休 館 日 水曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
 入 館 料 無料
 入 館 者 数 (令和 7 年度) 24,430 人

● 市指定有形文化財 日向家住宅

1. 施設概要 指定年月日 平成 8 年 7 月 25 日
 建 築 年 文久 2 年 (1862 年)
 復元建築年 平成 28 年 2 月 1 日
 構 造 木造平屋造
 延 床 面 積 170 m²
 *江戸末期の武家住宅であり、市内鳥居町に
 あったものを復元し、丸岡城跡史跡公園の
 ガイダンス施設として保存活用している。



2. 公 開 開 館 時 間 10 時～16 時
 開 館 日 4 月から 11 月までの土曜日、日曜日
 入 館 料 無料
 入 館 者 数 (令和 7 年度) 421 人

■ スポーツ関連施設

● 学校体育施設開放

1. 開放の目的

学校体育施設（体育館・グラウンド）を学校教育に支障のない限り、市民の健全な余暇利用の場として開放し、健康・体力作りとレクリエーション活動の場に役立てます。

2. 開放校の指定

市内小・中学校全般

*細部については各開放校の運営委員会等で定めます。

3. 学校体育施設利用状況(令和7年度)

<鶴岡地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	朝 一 小	31,191	9	大 泉 小	22,184	17	鶴 二 中	11,294
2	朝 二 小	17,019	10	京 田 小	5,194	18	鶴 三 中	9,411
3	朝 三 小	19,901	11	上 郷 小	1,147	19	鶴 四 中	5,168
4	朝 四 小	18,938	12	豊 浦 小	4,172	20	鶴 五 中	14,615
5	朝 五 小	27,881	13	湯 野 浜 小	5,531	21	鶴五中武道館	2,233
6	朝 六 小	11,644	14	大 山 小	12,867	22	豊 浦 中	1,574
7	斎 小	17,648	15	西 郷 小	3,757			
8	黄 金 小	4,770	16	鶴 一 中	8,214		計	256,353

<藤島地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	藤 島 小	4,120	3	渡 前 小	2,631			
2	東 栄 小	130	4	藤 島 中	3,118		計	9,999

<羽黒地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	羽 黒 小	3,281	3	羽 黒 中	5,456			
2	広 瀬 小	5,314	4	羽黒中武道館	1,666		計	15,717

<櫛引地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	櫛 引 東 小	2,336	3	櫛 引 南 小	4,849	5	櫛引中柔道場	251
2	櫛 引 西 小	3,859	4	櫛 引 中	8,401		計	19,696

<朝日地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	あ さ ひ 小	2,064						
2	朝 日 中	3,832					計	5,896

<温海地域>

No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数	No.	開 放 校	利用人数
1	あ つ み 小	4,169	3	温 海 中	2,798			
2	鼠 ケ 関 小	5,304					計	12,271

●体育施設

<鶴岡地域>

(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
小真木原 公 園 (公園面積 22.9ha)	つるしんアリーナ 小 真 木 原 (小真木原総合体育館)	9,000	9,059	平 3	バスケットボール2面・バレーボール3面・バドミントン12面・卓球40面、トレーニングルーム、屋内ランニングコース(1周200m)、観覧席(1,720人)、ロールバック式固定席2式(1,000人)、第1・第2多目的ホール
	朝 陽 武 道 館	10,400	5,605	平 13	柔道場常設2面、剣道場常設2面、弓道場近的10人立・遠的6人立、大武道場、観客席500
	小真木原陸上競技場	24,880	2,294	昭 57	第二種公認、全天候型トラック400m・8レーン、走り幅跳、三段跳、走り高跳、ハンマー投、槍投、砲丸投、円盤投、(各2箇所)、棒高跳(6箇所)、室内走路、メインスタンド(2,500人)、芝生スタンド(4,500人)、自動着順判定装置、器具庫
	小真木原テニスコート	10,400	300 (クラブハウス)	平 3	全天候型砂入人工芝12面、夜間照明設備(コイントイマー)
	小真木原スケート場	1,800	同上	平 4	冬期間、テニスコート4面使用(12月～2月)アイスホッケーリンク
	小 真 木 原 相 撲 場	1,400	110	平 6	土俵1(屋根付)、固定席(432席、芝生スタンド)
	屋 内 相 撲 場		238	平 12	土俵2
	東 多 目 的 広 場	9,400		昭 54	芝

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
小真木原公園 (公園面積 22.9ha)	南多目的広場 (愛称: ゆみ〜る小真木)	10,814	93	平4	芝、バックネット2、アーチェリー用防矢ネット、倉庫
	WaTaRaI 鶴岡ドリームスタジアム (小真木原野球場)	27,040	4,531	平11	センター122m/両翼 97.6m、夜間照明設備(内野平均照度 900 ルクス以上、外野平均照度 600 ルクス以上) 収容人員(内野スタンド 5,500 人、外野スタンド(芝) 6,500 人、計 12,000 人) グラウンド(内、外野天然芝)
プー ル	市 民 プー ル	10,061	3,156	平元	50m・25m 公認プール(50m・9 コース、25m・21 コース)
体 育 館	宝 田 体 育 館	2,141	1,036	昭 60	バスケットボール1面、バレーボール2面・バドミントン6面・卓球10面・テニス1面
市民運動場	東 部 運 動 広 場	9,810		平4	サッカーゴール1対、バックネット、夜間照明(コインタイマー)
	大 山 運 動 広 場	14,200		平元	サッカーゴール1対、バックネット、夜間照明(コインタイマー)
	J A 鶴岡だだちゃアリーナ (屋内多目的運動場)	10,822	5,402	令 3	フットサルコート2面、テニスコート4面、ゲートボールコート8面、2階ホール、ウォーキングコース(230m/周)
	八 森 山 レクリエーション広場	81,714	417 (ヒュッテ)	昭 32	キャンプ場、多目的広場、散策路、ヒュッテ(3階建)、遊具
夜間照明施設	鶴岡第二中学校 グラウンド	10,795		昭 63	平 20. 9 改修 夜間照明(コインタイマー)、器具庫1、トイレ
	鶴岡第四中学校 グラウンド	17,015		平 3	夜間照明(コインタイマー)、器具庫1、トイレ
赤 川 河川緑地	陸 上 競 技 場	23,400		昭 44	トラック 400m・8レーン
	サ ッ カ ー 場 A	13,200			サッカーゴール1対
	サ ッ カ ー 場 B	15,400			サッカーゴール1対
	野 球 場 A	9,100			バックネット
	ラ グ ビ ー 場	12,000		昭 53	
	第 二 自 由 広 場	10,957		平 8	芝〈グラウンドゴルフ場・ゲートボール場〉

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
赤 川 河川緑地	野 球 場 B	9,262		昭 54	バックネット
	ソ フ ト ボ ー ル 場	11,817		昭 51	
	子 供 広 場	15,210		昭 57	バックネット
	自 由 広 場 A	11,487		昭 58	広場、園路
	自 由 広 場 B	10,957		昭 59	広場、園路
	赤川市民ゴルフ場	173,396		平元	9ホール（パー35）
	鶴岡市グラウンド・ゴルフ場	26,800		平 23	8ホール×6コース



つるしんアリーナ小真木原



朝陽武道館



WaTaRaI 鶴岡ドリームスタジアム

< 藤島地域 >

(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
体 育 館	藤 島 体 育 館	21,522	6,156 (屋内運動 場含む)	平 8	バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面・卓球24面・テニス2面、屋内ランニングコース（1周190m）、観覧席(420人)、ステージ、軽スポーツルーム、トレーニングルーム、屋内運動場（クライミングウォールH8mW6m）、会議室2
ふれあいと 躍動の広場	グラウンドゴルフ場	7,854	69 (クラブハウス)	平 9	東西各8ホール、クラブハウス（ミーティングルーム、トイレ）
	テ ニ ス コ ー ト	3,169		平 9	砂入人工芝2面、 クレイコート2面
市民運動場	藤 島 運 動 広 場	19,900	84 (管理棟)	昭 57	バックネット、サッカーゴール1対、夜間照明（コインタイマー）、管理棟（用具庫、トイレ）



藤島体育館



ふれあいと躍動の広場
グラウンドゴルフ場

<羽黒地域>

(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
体 育 館	羽 黒 体 育 館	9,295	3,759	平 3	バドミントン6面・バスケットボール2面・バレーボール2面・テニス2面、卓球5台、トレーニングルーム、トレーニングスタジオ、会議室、研修室、ステージ（固定）観覧席(144)
	羽黒体育センター	1,184	764	昭 57	バドミントン3面・バスケットボール1面・バレーボール1面、卓球2台、ステージ(固定)
テニスコート	羽黒テニスコート	4,342		平 5	砂入人工芝4面、夜間照明、男女トイレ



羽黒体育館



羽黒体育センター



羽黒テニスコート

<櫛引地域>

(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
体 育 館	櫛引スポーツセンター	6,726	6,637	平 7	アリーナ（バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面）、武道場（剣道2面）、クレートコート、トレーニングルーム、観覧席(304席)、合宿室、軽スポーツコーナー
櫛引総合運動公園	陸 上 競 技 場	22,317		平元	400mトラック・8レーン、走り幅跳び、砲丸投げ、芝生グラウンド（サッカー場）、護岸観覧席(1,280人)
	多 目 的 広 場	15,141		平元	
	野 球 場	14,533		平 3	ナイター照明設備4基、センター112m・両翼98m
	イ ベ ン ト 広 場 (東・西)	5,645		平 3・4	東（芝生）、西（アスファルト駐車場）
	野外ステージ・観覧席	1,812		平 3	野外ステージ・芝生観覧席
	グラウンドゴルフ場	3,328		平 3	12 ホール
	ゲ ー ト ボ ー ル 場	1,583		平 3	2 面
	な べ っ こ 広 場	934		平 3	かまど

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
夜間照明施設	櫛引中学校グラウンド	19,629		平 13	ナイター照明設備 4 基



櫛引スポーツセンター



櫛引総合運動公園 野球場

<朝日地域>

(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
朝日スポーツセンター	体 育 館	12,766	2,383	平 5	バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン2面・フットサル1面、レクリエーション室
	運 動 場	17,451		昭 57	トラック 300m・内部天然芝(野球1面、サッカー1面)
	テ ニ ス コ ー ト	2,554		平 6	全天・砂入人工芝2面、夜間照明(コインタイマー)
	ゲ ー ト ボ ー ル 場	1,469		平 6	2 面
	プ ー ル	1,146		昭 59	25m・7コース



朝日スポーツセンター

<温海地域>

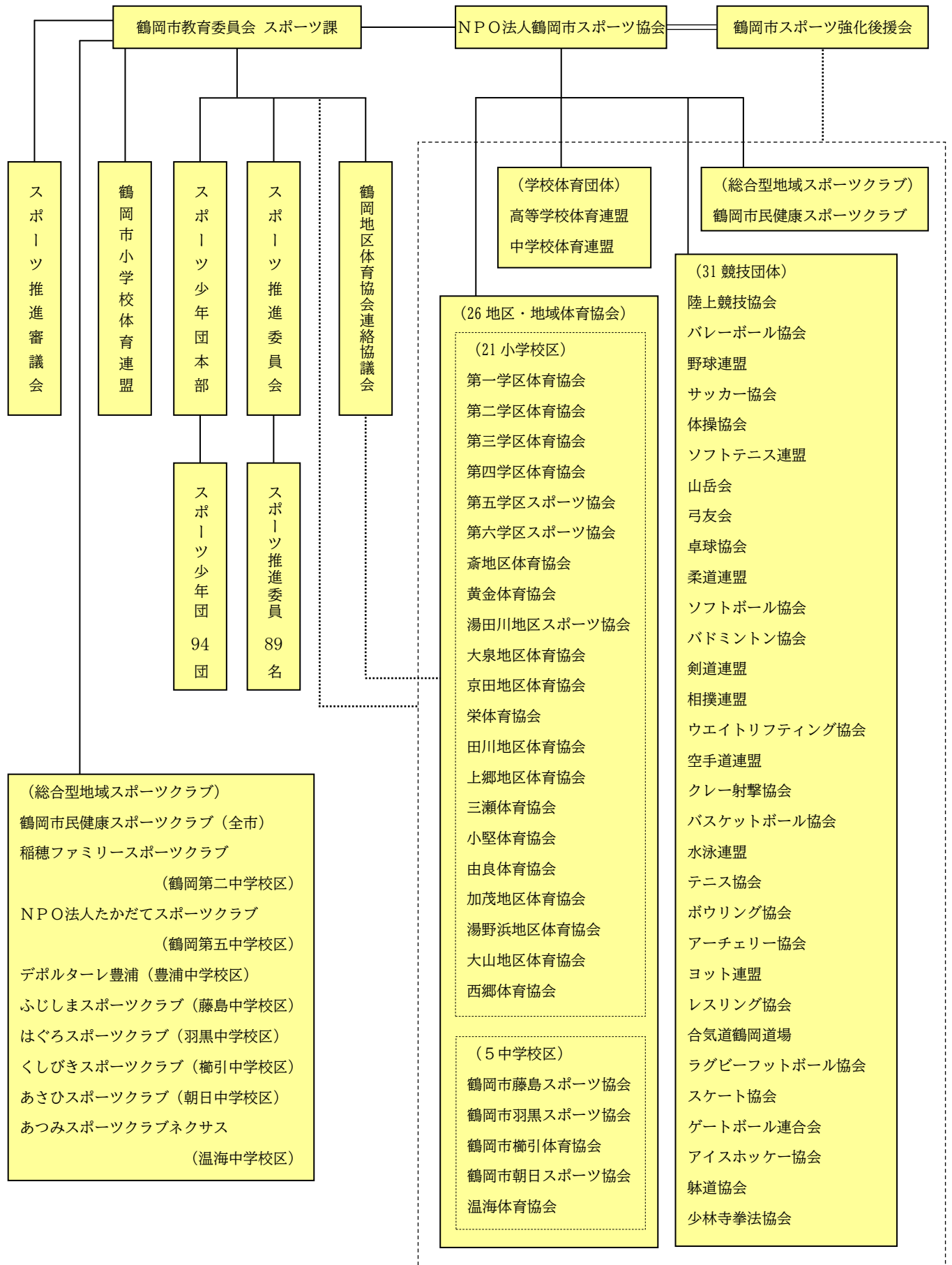
(面積：㎡)

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概 要
野 球 場	温 海 総 合 運 動 場	23,563	440	昭 57	野球場1面、ナイター設備、管理棟
テニスコート	温海湯見ヶ代運動場	14,687	100	昭 63	全天候透水型ゴムチップウレタン5面、管理棟



温海総合運動場

鶴岡市スポーツ振興関係団体 組織図



鶴岡市教育委員会 沿革（略年表）

平成17.10.1	市町村合併により、鶴岡市教育委員会発足
18.3.31	櫛引東小学校荒代分校廃校
18.4.1	機構改革により、分室は教育課、学校教育班・社会教育体育班体制となる。
18.5.1	教育委員会事務局三課、櫛引庁舎に移転する。
18.11.30	櫛引南小学校校舎改築完成
19.11.30	鶴岡第二中学校校舎改築完成
21.3.23	鼠ヶ関小学校校舎改築完成
21.3.31	大山幼稚園閉園
21.12.21	朝陽第一小学校校舎改築完成
22.4.29	藤沢周平記念館開館
24.2.29	羽黒中学校校舎改築完成
24.3.31	組織改変により、分室教育課が廃止となる。 大東幼稚園閉園、広瀬幼稚園閉園、こだま幼稚園閉園
26.3.23	朝陽第四小学校校舎改築完成
26.3.31	泉幼稚園閉園 朝陽第四小学校閉校、湯田川小学校閉校、田川小学校閉校 朝日大泉小学校閉校、朝日小学校閉校
26.4.1	朝陽第四小学校開校（朝陽第四小学校、湯田川小学校、田川小学校の統合） あさひ小学校開校（朝日大泉小学校、朝日小学校の統合）
27.3.23	朝日中学校校舎改築完成
27.3.31	西郷幼稚園閉園 三瀬小学校閉校、小堅小学校閉校、由良小学校閉校
27.4.1	豊浦小学校開校（三瀬小学校、小堅小学校、由良小学校の統合）
28.3.31	羽黒第三小学校閉校、羽黒第四小学校閉校、大網小学校閉校、温海小学校閉校、 五十川小学校閉校、福栄小学校閉校、山戸小学校閉校
28.4.1	広瀬小学校開校（羽黒第三小学校、羽黒第四小学校の統合） あさひ小学校統合（あさひ小学校、大網小学校の統合） あつみ小学校開校（温海小学校、五十川小学校、福栄小学校、山戸小学校の統合）
29.3.31	大山小学校閉校、加茂小学校閉校
29.4.1	大山小学校開校（大山小学校、加茂小学校の統合）
30.3.18	荘銀タクト鶴岡グランドオープン
30.3.28	鶴岡第三中学校校舎改築完成
30.3.31	栄小学校閉校、長沼小学校閉校、羽黒第一小学校閉校
30.4.1	京田小学校開校（京田小学校、栄小学校の統合） 藤島小学校開校（藤島小学校、長沼小学校の統合） 羽黒小学校開校（羽黒第一小学校、羽黒第二小学校の統合）
令和3.12.1	J A鶴岡だだちゃアリーナ（鶴岡市屋内多目的運動場）オープン
4.4.16	シルクミライ館リニューアルオープン
7.7.26	朝陽第五小学校校舎改築完成

鶴岡市教育委員会 関係委員

■ 歴代教育委員長（H17.10.1 市町村合併以降）

歴 代	氏 名	在 任 期 間
1	中 村 昭太郎	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
2	伴 和香子	平成 17 年 11 月 12 日～平成 21 年 11 月 11 日
3	武 山 育	平成 21 年 11 月 12 日～平成 23 年 11 月 11 日
4	中 目 千 之	平成 23 年 11 月 12 日～平成 25 年 11 月 11 日
5	田 中 芳 昭	平成 25 年 11 月 12 日～平成 28 年 3 月 31 日

■ 歴代教育長

歴 代	氏 名	在 任 期 間
1	本 間 重 二	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
2	齋 藤 英 雄	平成 17 年 11 月 12 日～平成 22 年 3 月 31 日
3	難 波 信 昭	平成 22 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
4	加 藤 忍	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
5	布 川 敦	平成 31 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
6	成 澤 和 則	令和 7 年 4 月 1 日～

■ 歴代教育委員

歴 代	氏 名	在 任 期 間
1	中 村 昭太郎	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
2	清 野 清	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
3	島 津 慈 道	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
4	菅 原 き よ	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
5	本 間 重 二	平成 17 年 10 月 1 日～平成 17 年 11 月 11 日
6	伴 和香子	平成 17 年 11 月 12 日～平成 21 年 11 月 11 日
7	齋 藤 英 雄	平成 17 年 11 月 12 日～平成 22 年 3 月 31 日
8	武 山 育	平成 17 年 11 月 12 日～平成 23 年 11 月 11 日
9	尾 形 昌 彦	平成 17 年 11 月 12 日～平成 25 年 8 月 19 日
10	中 目 千 之	平成 17 年 11 月 12 日～平成 25 年 11 月 11 日
11	佐 藤 清 美	平成 21 年 11 月 12 日～平成 29 年 11 月 11 日
12	難 波 信 昭	平成 22 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
13	佐 竹 美津子	平成 23 年 11 月 12 日～令和元年 11 月 11 日
14	毛 呂 光 一	平成 25 年 9 月 19 日～令和 4 年 11 月 11 日
15	田 中 芳 昭	平成 25 年 11 月 12 日～令和 3 年 11 月 11 日
16	齋 藤 美 緒	平成 29 年 11 月 12 日～令和 6 年 11 月 11 日
17	清 野 康 子	令和元年 11 月 12 日～令和 7 年 5 月 29 日
18	百 瀬 克 浩	令和 3 年 11 月 12 日～
19	中 村 公 俊	令和 4 年 11 月 12 日～

20	小 林 真貴子	令和6年11月12日～
21	佐 藤 涼 子	令和7年6月10日～

■ 鶴岡市青少年育成推進員

地 域	担当地区	氏 名	地 域	担当地区	氏 名
鶴 岡	第一学区	近 藤 幸 美	鶴 岡	加 茂	上 林 泰 一
鶴 岡	第一学区	西 川 松 一	鶴 岡	湯 野 浜	富 樫 伸
鶴 岡	第二学区	伊 藤 い く	鶴 岡	大 山	石 塚 哲 郎
鶴 岡	第二学区	太 田 孝 二	鶴 岡	大 山	後 藤 春 雄
鶴 岡	第三学区	阿 部 等	鶴 岡	西 郷	鈴 木 善 文
鶴 岡	第三学区	石 塚 正 子	藤 島	藤島地区	庄 司 靖
鶴 岡	第四学区	清 原 了	藤 島	東栄地区	渋 谷 裕
鶴 岡	第四学区	佐 藤 公 昭	藤 島	八栄島地区	水 野 豊
鶴 岡	第五学区	伊 藤 秀 紀	藤 島	長沼地区	澁 谷 光 志
鶴 岡	第五学区	大 滝 真由美	藤 島	渡前地区	須 貝 高 貴
鶴 岡	第六学区	土 岐 光 義	羽 黒	手向地区	鈴 木 智 浩
鶴 岡	第六学区	三 上 求	羽 黒	泉 地区	半 澤 久 之
鶴 岡	斎	三 浦 孝	羽 黒	広瀬地区	菅 原 正 幸
鶴 岡	黄 金	菅 原 孝 幸	羽 黒	羽黒第四地区	菊 池 淳 子
鶴 岡	湯 田 川	五十嵐 茂 行	櫛 引	櫛引東小	清 和 政 満
鶴 岡	大 泉	白 幡 浩 一	櫛 引	櫛引西小	佐 藤 博 明
鶴 岡	京 田	阿 部 徹	櫛 引	櫛引南小	小 林 堅 一
鶴 岡	栄	五十嵐 悠 亮	朝 日	あさひ小	菅 原 和 則
鶴 岡	田 川	佐 藤 一	温 海	温 海	-
鶴 岡	上 郷	五十嵐 広 樹	温 海	山 戸	伊 藤 一 也
鶴 岡	由 良	伊 藤 淳	温 海	福 栄	五十嵐 明 美
鶴 岡	三 瀬	佐 藤 信 良	温 海	鼠ヶ関	五十嵐 博 文
鶴 岡	小 堅	小 林 隆 広			

◎任期 令和7年4月1日から令和9年3月31日まで

■ 鶴岡市青少年育成市民会議役職員

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
会 長	三 浦 孝	鶴岡市青少年育成推進員連絡協議会会長
副 会 長	石 川 俊 志	鶴岡市防犯協会会長
	長谷川 玲 子	鶴岡市民生児童委員協議会連合会 児童健全育成部長
常 任 理 事	伊 藤 俊 昭	鶴岡市自治振興会連絡協議会理事
	宮 崎 衛	鶴岡地区交通安全協会事務局長
	岡 崎 克 己	鶴岡市民憲章推進協議会常任理事
	若 生 悠	鶴岡市P T A連合会副会長
	千 田 洋 子	鶴岡市第三学区社会福祉協議会

◎任期 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

■ 社会教育委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	難 波 剛 彦	鶴岡市小学校長会（朝陽第六小学校校長）
2	石 川 敦	鶴岡市中学校長会会長（鶴岡第一中学校校長）
3	井 上 夏	鶴岡市P T A連合会副会長（藤島中学校P T A会長）
4	佐々木 邦 夫	鶴岡市コミュニティ組織協議会理事 （第五学区コミュニティ振興会会長）
5	石 川 孝 弘	鶴岡市自治振興会連絡協議会理事（黄金地区自治振興会会長）
6	佐 藤 豊 継	鶴岡市社会福祉協議会常務理事兼事務局長
7	平 田 充 廣	鶴岡市地域学校協働活動推進員 （上郷小学校地域学校協働本部）
8	蛸 井 由美子	鶴岡市地域学校協働活動推進員（朝日地域学校協働本部）
9	大久保 紀 子	鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」事務局長
10	水 口 直 樹	鶴岡市生涯学習推進員
11	鈴 木 郁 生	みどり幼稚園園長
12	草 島 陽 子	学識経験者
13	菊 池 健 一	鶴岡市生涯学習推進員・羽黒町推進員連絡会会長
14	成 田 勇	櫛引地域生涯学習振興会会長
15	難 波 金 一	鶴岡市朝日地域自治振興会連絡協議会会長
16	五 十 嵐 潮	鶴岡市生涯学習推進員

◎任期 令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

■ 文化財保護審議会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	島 津 慈 道	羽黒山正善院前代表役員
2	酒 井 英 一	致道博物館参与
3	本 間 豊	致道博物館調査役
4	小野寺 良 寛	六十里越街道山船頭人協会会長
5	五十嵐 俊 司	小国城址保存会元会長
6	野 堀 嘉 裕	山形大学名誉教授
7	柴 田 和 彦	山形県立鶴岡工業高等学校元教諭
8	渡 部 幸	出羽三山歴史博物館学芸員
9	上 野 由 部	黒川能保存会業務執行理事
10	佐 藤 靖 法	宝珠寺代表役員
11	佐 藤 淳	致道博物館学芸部長
12	富 樫 均	自然学習交流館「ほとりあ」館長

◎任期 令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

■ 図書館協議会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	佐 藤 奈保子	鶴岡市小学校長会(朝暘第二小学校長)
2	和 田 俊 江	元朗読ボランティア・わらしべの会会員
3	井 上 裕 子	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
4	草 島 陽 子	社会教育委員
5	佐 藤 泰 彦	中央公民館サークル連絡会会長
6	柴 田 陵 子	学識経験者
7	五十嵐 武	学識経験者
8	三 浦 洋 介	学識経験者
9	本 間 積	学識経験者
10	菊 池 淳 子	社会教育関係者
11	上 野 あやの	社会教育関係者
12	長 南 敏 子	あさひ読み聞かせの会会長
13	鈴 木 和 子	おはなしボランティア「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」代表

◎任期 令和7年9月1日から令和9年8月31日まで

■ 郷土資料館運営委員会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	阿 部 博 行	元高校教諭、鶴岡市史編さん委員
2	小 田 郁	元中学校教諭
3	齋 藤 和 久	元高校長
4	渡 部 幸	出羽三山歴史博物館学芸員
5	佐 藤 淳	致道博物館学芸部長
6	升 川 繁 敏	元小学校長、鶴岡市史編さん委員
7	河 口 昭 俊	元高校教頭
8	三 原 容 子	元大学教授

◎任期 令和7年9月1日から令和9年8月31日まで

■ 子ども読書活動推進委員会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	井 上 裕 子	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
2	三 浦 洋 介	学識経験者
3	谷 江 る み	民田保育園主幹
4	佐 藤 奈保子	鶴岡市小学校長会(朝暘第二小学校長)
5	佐 藤 大 吾	鶴岡市中学校長会(鶴岡第二中学校長)
6	田 村 裕	山形県立鶴岡中央高等学校長
7	荒 川 絵 里	鶴岡市PTA連合会母親委員長

◎任期 令和8年8月1日から令和10年7月31日まで

■ 中央公民館運営審議会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	前 田 直 人	鶴岡市小学校長会(東栄小学校長)
2	梅 津 芳 春	NPO法人鶴岡市芸術文化協会副会長
3	佐 藤 泰 彦	中央公民館サークル連絡会会長
4	前 森 淳 子	中央公民館女性センター登録サークル連絡協議会会長
5	門 松 秀 樹	学識経験者(東北公益文科大学教授)
6	門 脇 里 香	学識経験者(各種講座・サークル講師)
7	伊 藤 狭	鶴岡市自治振興会連絡協議会(栄地区自治振興会会長)
8	高 山 千代子	藤島地域婦人会会長
9	土 岐 彰	羽黒芸術文化協会副会長
10	五十嵐 信 市	櫛引芸術文化協会会長
11	渡 部 嚴	朝日芸術文化協会会員
12	阿 部 麻知子	かなり元気クラブ(温海ふれあいセンター生涯学習サークル)代表

◎任期 令和7年8月22日から令和9年8月21日まで

■ 学校給食センター運営委員会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	百 瀬 俊 悦	大泉小学校校長
2	八 渡 宗一郎	羽黒小学校校長
3	奥 山 徹	櫛引南小学校校長
4	芳 賀 恵 美	あさひ小学校校長
5	眞 坂 敦 子	鼠ヶ関小学校校長
6	柿 崎 健	豊浦中学校校長
7	平 田 佳代子	櫛引西小学校給食主任
8	寒河江 華 生	豊浦中学校給食主任
9	菅 原 真 樹	鶴岡地区医師会会長
10	佐 藤 貴 恵	豊浦中学校 PTA 母親委員
11	佐 藤 康 博	広瀬小学校 PTA 会長
12	池 田 香 織	櫛引東小学校 PTA 副会長
13	難 波 純 子	朝日中学校 PTA 母親委員長
14	五十嵐 彩	あつみ小学校 PTA 常任委員部長
15	佐々木 秀	庄内保健所生活衛生課長補佐

◎任期 令和8年7月1日から令和10年6月30日まで

■ 藤島ふれあい食センター運営委員会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	高 橋 義	渡前小学校校長
2	斎 藤 智恵子	藤島小学校給食主任
3	佐 藤 幸 栄	東栄小学校給食主任
4	吉 川 茉 穂	藤島中学校給食主任
5	安 在 堅	藤島小学校 P T A 副会長
6	矢 内 里加子	東栄小学校 P T A 副会長
7	須 貝 泰 彦	渡前小学校 P T A 副会長
8	木 村 知 加	藤島中学校 P T A 副会長
9	佐 藤 佑	藤島こりす保育園保護者会長
10	百 瀬 裕 慶	学校法人いなば学園 幼稚園型認定こども園 いなば幼稚園園長
11	佐 藤 裕 美	藤島こりす保育園園長
12	武 田 三喜子	サンサン・畑の会会長
13	板 垣 俊	(社)ふじの里障がい福祉サービス根っ子杉所長
14	堅 岡 真由美	藤島福祉センター主査

◎任期 令和8年7月1日から令和10年6月30日まで

■ スポーツ推進審議会委員

No.	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	阿 部 廣 弥	鶴岡商工会議所副会頭
2	布 施 愛 加	アスリート指導者
3	佐 藤 祐 司	鶴岡信用金庫理事長
4	岡 部 貞 二	鶴岡市小学校体育連盟会長
5	田 澤 明 広	田川地区中学校体育連盟副会長
6	齋 藤 秀 志	庄内地区高等学校体育連盟副会長
7	菊 地 甚 一	鶴岡市スポーツ推進委員会会長
8	山 本 益 生	NPO法人鶴岡市スポーツ協会会長
9	佐 藤 利 浩	NPO法人鶴岡市スポーツ協会専務理事
10	平 賀 振一郎	鶴岡市スポーツ少年団本部本部長
11	鎌 田 博 子	鶴岡市民健康スポーツクラブクラブマネジャー
12	佐 藤 真 紀	ふじしまスポーツクラブクラブマネジャー
13	佐 藤 しおり	鶴岡フィットネス協会会長
14	増 田 亨	鶴岡地区体育協会連絡協議会会長
15	佐 藤 満 子	鶴岡市身体障害者福祉協会会長

◎任期 令和8年3月1日から令和10年2月29日まで

■ スポーツ推進委員

No.	地区・地域	氏 名	No.	地区・地域	氏 名
1	第 一 学 区	後 藤 直 光	19	斎 地 区	遠 藤 史 範
2	第 一 学 区	菅 原 美 紀	20	斎 地 区	門 脇 拓 也
3	第 二 学 区	川 野 二三男	21	黄 金 地 区	和 田 太美夫
4	第 二 学 区	池 田 泰 紀	22	黄 金 地 区	原 田 博 行
5	第 二 学 区	菅 原 俊 隆	23	湯 田 川 地 区	菊 地 甚 一
6	第 三 学 区	阿 部 洋 一	24	湯 田 川 地 区	石 森 圭
7	第 三 学 区	安 野 智 恵	25	大 泉 地 区	長 澤 壮
8	第 三 学 区	富 樫 博	26	大 泉 地 区	菅 原 淳
9	第 三 学 区	長谷川 明 子	27	京 田 地 区	延 味 義 勝
10	第 四 学 区	上 野 義 弘	28	京 田 地 区	阿 部 正 弥
11	第 四 学 区	工 藤 尚 志	29	栄 地 区	菅 原 信 三
12	第 四 学 区	劔 持 悦 子	30	栄 地 区	上 野 智
13	第 五 学 区	伊 藤 秀 紀	31	田 川 地 区	伊 藤 勝 美
14	第 五 学 区	鈴 木 良	32	田 川 地 区	鈴 木 匠
15	第 五 学 区	佐 藤 俊 彦	33	上 郷 地 区	小 松 浩
16	第 六 学 区	長 南 恵 利	34	上 郷 地 区	佐 藤 まり子
17	第 六 学 区	高 橋 正 史	35	三 瀬 地 区	上 野 米 夫
18	第 六 学 区	加 藤 和 人	36	三 瀬 地 区	鈴 木 肇

No.	地 区 ・ 地 域	氏 名	No.	地 区 ・ 地 域	氏 名
37	小 堅 地 区	熊 谷 智	64	羽 黒 地 域	小 泉 貴 弘
38	小 堅 地 区	佐 藤 潤 一	65	羽 黒 地 域	工 藤 実佐子
39	由 良 地 区	齋 藤 茂 喜	66	櫛 引 地 域	劔 持 明 生
40	由 良 地 区	佐 藤 正 堂	67	櫛 引 地 域	伊 藤 信
41	加 茂 地 区	田 澤 輝 道	68	櫛 引 地 域	上 林 満
42	加 茂 地 区	齋 藤 敦	69	櫛 引 地 域	山 口 利 幸
43	湯 野 浜 地 区	秋 葉 浩 和	70	櫛 引 地 域	本 間 一 義
44	湯 野 浜 地 区	齋 藤 晃	71	櫛 引 地 域	小 島 英 敏
45	大 山 地 区	中 村 慎 也	72	朝 日 地 域	難 波 智 明
46	大 山 地 区	大 瀧 文	73	朝 日 地 域	渡 部 謙
47	大 山 地 区	菅 原 健	74	朝 日 地 域	鈴 木 誠
48	西 郷 地 区	阿 部 リ ツ	75	朝 日 地 域	佐 藤 貢 誠
49	西 郷 地 区	中 西 匠	76	朝 日 地 域	清 野 有 里
50	藤 島 地 域	丸 山 春 男	77	朝 日 地 域	小 関 正 英
51	藤 島 地 域	佐 藤 真 紀	78	温 海 地 域	劔 持 梓
52	藤 島 地 域	阿 部 勝	79	温 海 地 域	五十嵐 勝
53	藤 島 地 域	本 間 亮	80	温 海 地 域	佐 藤 翔
54	藤 島 地 域	石 川 亮	81	温 海 地 域	伊 藤 大 悟
55	藤 島 地 域	齋 藤 慎	82	温 海 地 域	土 岐 康 弘
56	藤 島 地 域	秋 山 菜 月	83	温 海 地 域	五十嵐 丈
57	藤 島 地 域	阿 部 伊武輝	84	温 海 地 域	佐 藤 伶
58	羽 黒 地 域	佐 藤 誠	85	市 推 薦	鎌 田 博 子
59	羽 黒 地 域	太 谷 英 俊	86	市 推 薦	秋 野 重 弥
60	羽 黒 地 域	星 野 綱 樹	87	市 推 薦	疋 田 美 佳
61	羽 黒 地 域	三 浦 智 敬	88	市 推 薦	小 林 光 雄
62	羽 黒 地 域	天 羽 香 奈	89	市 推 薦	佐 藤 誠 一
63	羽 黒 地 域	丸 山 真太郎			

◎任期 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

学 校 交 流

■ 学校交流一覧

交 流 名	学 校 名	交 流 校 名
S 3 9 姉妹校盟約	朝 陽 第 一 小 学 校	木古内町立木古内小学校（北海道） （※H22 まで木古内町立鶴岡小学校、交流校の 統合により再盟約）
S 4 3 姉妹校盟約	朝 陽 第 二 小 学 校	鹿児島市立大龍小学校（鹿児島県）
S 5 7 姉妹校盟約	朝 陽 第 三 小 学 校	江戸川区立鹿本小学校（東京都）
H 1 8 姉妹校盟約	あ つ み 小 学 校 （H 2 7 まで福栄小学校）	曾於市立笠木小学校（鹿児島県）
H 2 7 姉妹校盟約	鶴 岡 第 一 中 学 校	フランス国立ラ・フォア中学校 （フランス領ニューカレドニア）
S 5 0 兄弟校盟約	鶴 岡 第 二 中 学 校	鹿児島市立武中学校（鹿児島県）
R7 相互交流に係る 連 携 協 定	櫛 引 西 小 学 校 櫛 引 中 学 校	熊本市立壺川小学校（熊本県） 熊本市立京陵中学校（熊本県）

鶴岡市教育施設一覧

1 学校教育施設

市外局番 (0235)

名 称 等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号	備 考
市立朝陽第一小学校	997-0816	鶴岡市文園町2-1	22-0441	22-0442	
市立朝陽第二小学校	997-0801	東原町25-1	22-7755	22-7754	
市立朝陽第三小学校	997-0042	新形町17-24	22-0318	22-0319	
市立朝陽第四小学校	997-0833	柳田字田中28-1	22-8343	22-8344	
市立朝陽第五小学校	997-0022	切添町15-4	22-0514	22-0462	
市立朝陽第六小学校	997-0838	淀川町9-70	24-2290	24-2291	
市立斎小学校	997-0805	我老林字野中川原51	22-1566	22-1901	
市立黄金小学校	997-0368	青龍寺字北内48	22-5742	22-5745	
市立大泉小学校	997-0841	白山字西野148	22-0794	22-3795	
市立京田小学校	997-0054	高田字下村104	22-0763	29-9950	
市立上郷小学校	999-7548	みずほ33-3	35-2641	38-5265	
市立豊浦小学校	999-7463	三瀬字菖蒲田88-1	73-2012	38-8137	
市立湯野浜小学校	997-1201	湯野浜一丁目16-38	75-2110	68-5161	
市立大山小学校	997-1124	大山二丁目20-1	33-2570	33-2571	
市立西郷小学校	997-1117	下川字樋渡100	76-2307	76-2324	
市立藤島小学校	999-7602	藤の花二丁目1-1	64-2156	64-2157	
市立東栄小学校	999-7644	川尻字町上14	64-2159	64-3826	
市立渡前小学校	999-7683	渡前字中屋敷1	64-2160	64-2969	
市立羽黒小学校	997-0141	羽黒町荒川字花沢4	62-2148	62-2317	
市立広瀬小学校	997-0157	羽黒町後田字下田元9	62-2165	62-2618	
市立櫛引東小学校	997-0311	黒川字小在家90	57-2105	57-4406	
市立櫛引西小学校	997-0346	上山添字文栄1	57-2106	57-4407	
市立櫛引南小学校	997-0344	東荒屋字竹の内212	57-2107	57-4408	
市立あさひ小学校	997-0404	下名川字落合2	53-2028	53-2292	
市立あつみ小学校	999-7205	温海字荻田240-1	43-3101	43-3344	
市立鼠ヶ関小学校	999-7126	鼠ヶ関字横路497-2	44-2128	44-2137	
市立鶴岡第一中学校	997-0837	道田町1-82	22-0530	25-7632	
市立鶴岡第二中学校	997-0011	宝田二丁目8-34	22-8323	22-8776	
市立鶴岡第三中学校	997-0814	城南町25-1	22-2793	22-2845	
市立鶴岡第四中学校	997-0825	小真木原町3-1	24-7330	24-8447	
市立鶴岡第五中学校	997-1121	大山字若柳271	33-2222	33-2223	
市立豊浦中学校	999-7463	三瀬字横町33-2	73-2028	73-2692	
市立藤島中学校	999-7601	藤島字笹花86-1	64-2154	64-2155	
市立羽黒中学校	997-0141	羽黒町荒川字宮東28-1	62-2100	62-2101	
市立櫛引中学校	997-0346	上山添字文栄86	57-2103	57-4405	
市立朝日中学校	997-0412	本郷字笹目50	53-2092	53-2091	
市立温海中学校	999-7123	大岩川字黒岩35	43-2911	43-2914	

名 称 等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号	備 考
県立致道館高等学校	997-0037	鶴岡市若葉町26-31	22-0061	24-5808	
県立致道館中学校	997-0037	若葉町16-5	23-7579	24-6160	
県立鶴岡工業高等学校	997-0036	家中新町8-1	22-5505	25-4209	
県立鶴岡中央高等学校	997-0017	大宝寺字日本国410	25-5723	25-5733	
県立加茂水産高等学校	997-1204	加茂字大崩595	33-3116	33-0465	
県立庄内農業高等学校	999-7601	藤島字古楯跡221	64-2151	64-2404	
県立鶴岡養護学校	997-0047	大塚町5-44	24-5959	23-1242	
県立鶴岡高等養護学校	997-0834	稻生一丁目20-33	22-0581	23-2507	
学校法人 鶴岡東高等学校	997-0022	切添町22-30	22-0223	25-6150	
学校法人 羽黒高等学校	997-0296	羽黒町手向字薬師沢198	62-2105	62-2193	
独立行政法人 鶴岡工業高等専門学校	997-8511	井岡字沢田104	25-9014	24-1840	
国立大学法人 山形大学農学部	997-8555	若葉町1-23	28-2805	28-2812	
公立大学法人 東北公益文科大学大学院	997-0035	馬場町14-1	29-0555	29-0556	
学校法人 城南幼保園	997-0819	のぞみ町6-20	24-7164	64-1660	認定こども園
社会福祉法人 りっしょう子ども園	997-0045	西新斎町2-31	33-8772	33-8773	認定こども園
社会福祉法人美咲こども園	997-0857	美咲町32-8	28-3331	28-3060	認定こども園
社会福祉法人ちわら葉の花こども園	997-0019	茅原字西茅原129-1	26-7311	26-7316	認定こども園
学校法人 大宝幼稚園	997-0014	大宝寺町14-10	22-1883	22-1696	認定こども園
社会福祉法人ちとせはぐくみ園	997-0834	稻生一丁目14-1	22-0742	22-0742	認定こども園
学校法人 若葉幼稚園	997-0037	若葉町24-35	22-2237	22-2358	認定こども園
学校法人 マリア幼稚園	997-0035	馬場町7-19	22-5831	22-5856	認定こども園
社会福祉法人新形こども園	997-0042	新形町2-35	23-2568	23-3780	認定こども園
社会福祉法人三瀬保育園	999-7463	三瀬字殿田233-1	73-3500	73-3507	認定こども園
社会福祉法人 たがわこども園	997-0753	田川字高田9-1	35-2715	35-0152	認定こども園
社会福祉法人 大山こども園	997-1124	大山二丁目56-26	33-2033	33-2048	認定こども園
社会福祉法人 大山こども園分園	997-1124	大山二丁目20-1	33-3250	33-3250	認定こども園
社会福祉法人 上郷保育園	999-7548	みずほ50	35-3392	-	認定こども園
学校法人 鶴岡幼稚園	997-0033	泉町6-13	22-0658	22-7060	認定こども園
学校法人 みどり幼稚園	997-0047	大塚町6-28	23-2350	23-2354	認定こども園
学校法人 和光幼稚園	997-0805	我老林字五里市62	22-8835	25-2230	認定こども園
学校法人 いなば幼稚園	999-7601	藤島字村東50	64-2310	64-3622	認定こども園
社会福祉法人美咲の森こども園	997-0857	美咲町28-5	24-5555	24-5300	認定こども園
社会福祉法人 にしごう保育園	997-1117	下川字樋渡100	64-0245	64-0246	認定こども園
教 育 研 修 所	997-0346	上山添字文栄100	57-4864	57-4886	教育委員会に併設
理 科 教 育 セ ン タ ー	997-0346	上山添字文栄100	57-4864	57-4886	教育委員会に併設
教 育 相 談 セ ン タ ー ・ 教育支援センター「おあしす」	997-0015	末広町3-1	23-9351	23-9395	マリカ東館2階
鶴岡市学校給食センター	997-0841	白山字西野148-1	22-0411	22-0181	
藤島ふれあい食センター	999-7604	藤浪三丁目95-9	64-2124	64-3710	
櫛引学校給食センター	997-0346	上山添字成田21-4	57-3279	57-4310	
あさひ給食センター	997-0412	本郷字中田30-1	58-1325	58-1326	
あつみっこ給食センター	999-7123	大岩川字黒岩35	48-1432	48-1433	

2 社会教育施設

市外局番（0235）

名 称 等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号	連 絡 先
中 央 公 民 館	997-0046	鶴岡市みどり町22-36	25-1050	25-1052	
中央公民館女性センター	997-0046	みどり町22-43	24-2340	電話と兼用	
図 書 館 本 館	997-0036	家中新町14-7	25-2525	25-2526	
郷 土 資 料 館	997-0036	家中新町14-7	25-5014	25-2526	図書館に併設
図 書 館 藤 島 分 館	999-7601	藤島字山ノ前99	64-2537	64-2396	東田川文化記念館に併設
〃 羽 黒 分 館	997-0141	羽黒町荒川字前田元89	62-2111		羽黒庁舎に併設
〃 櫛 引 分 館	997-0346	上山添字文栄60	57-5681		櫛引情報センターに併設
〃 朝 日 分 館	997-0404	下名川字落合220	26-1065		朝日中央コミュニティセンターに併設
〃 温 海 分 館	999-7205	温海戊577-1	43-4411	43-4427	温海ふれあいセンターに併設
荘 銀 タ ク ト 鶴 岡 （ 鶴 岡 市 文 化 会 館 ）	997-0035	馬場町11-61	24-5188	25-7611	
鶴岡アートフォーラム	997-0035	馬場町13-3	29-0260	22-6051	
藤 沢 周 平 記 念 館	997-0035	馬場町4-6	29-1880	29-2997	
東 田 川 文 化 記 念 館	999-7601	藤島字山ノ前99	64-2537	64-2396	
藤島農村環境改善センター	999-7652	添川字新地315	64-2470	64-2470	スポーツ課
櫛引生涯学習センター	997-0346	上山添字文栄90	57-5670	57-2963	
大 鳥 自 然 の 家	997-0622	大鳥字寿岡112	55-2946	電話と兼用	
温海ふれあいセンター	999-7205	温海戊577-1	43-4411	43-4427	
史 跡 旧 致 道 館	997-0035	馬場町11-45	23-4672	電話と兼用	
大 宝 館	997-0035	馬場町4-7	24-3266	電話と兼用	
史 跡 松 ケ 岡 開 墾 場 （ 松 ケ 岡 開 墾 記 念 館 ）	997-0158	羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡29	62-3985	電話と兼用	
丸 岡 城 跡 史 跡 公 園 （ 日 向 家 住 宅 ）	997-0334	丸岡字町の内96 （丸岡字町の内50）	57-5556	電話と兼用	
旧 遠 藤 家 住 宅	997-0532	田麦俣字七ツ滝139	53-2111	53-2119	朝日庁舎地域づくり推進課
金 峰 少 年 自 然 の 家	997-0369	高坂字杉ヶ沢54-1	24-2400	25-5900	
致 道 博 物 館	997-0036	家中新町10-18	22-1199	22-3531	
出 羽 三 山 歴 史 博 物 館	997-0211	羽黒町手向字羽黒山33	62-2355	62-2352	

3 スポーツ施設

市外局番 (0235)

名 称 等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号	連 絡 先
つるしんアリーナ小真木原 (小真木原総合体育館)	997-0825	鶴岡市小真木原町2-1	25-8131	25-8134	
宝 田 体 育 館	997-0011	宝田一丁目20-61	25-8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
小真木原陸上競技場	997-0825	小真木原町2-1	23-4747		
小真木原東・南多目的広場	997-0825	小真木原町2-1	25-8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
W a T a R a I 鶴岡 ドリームスタジアム (小真木原野球場)	997-0825	小真木原町2-1	25-8133	電話と兼用	
朝 陽 武 道 館	997-0825	小真木原町2-1	29-1346	29-1347	
小真木原テニスコート (小真木原スケート場)	997-0825	小真木原町2-1	23-5694	電話と兼用	(12月～2月の期間限定)
小真木原相撲場	997-0825	小真木原町2-1	25-8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
市 民 プ ー ル	997-0035	馬場町13-1	22-0074	22-2017	一般財団法人 鶴岡水泳育成協会
東 部 運 動 広 場	997-0802	伊勢原町12-13	25-8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
大 山 運 動 広 場	997-1124	大山三丁目34	25-8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
J A 鶴岡だだちゃアリーナ (屋内多目的運動場)	997-0856	山田字油田74-22	33-9331	33-9332	NPO法人鶴岡市スポーツ協会
八森山レクリエーション広場	999-7463	三瀬字山田1-1	73-2001		三瀬コミュニティセンター
赤 川 河 川 緑 地	997-0017 997-0803	大宝寺字立野 伊勢横内字大場川原	25-2111 内線466		都市計画課 公園緑地係
鶴 岡 西 部 公 園 多目的グラウンド	997-0857	美咲町29-1			
西 工 業 団 地 緑地テニスコート	997-0017	大宝寺字日本国254-11			
藤 島 体 育 館	999-7602	藤の花1丁目1-1	64-2143	64-5239	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 (藤島体育館)
ふれあいと躍動の広場					
藤 島 運 動 広 場	999-7652	添川字新地307	25-8131	25-8134	スポーツ課
羽 黒 体 育 館	997-0141	羽黒町荒川字谷地堰29-1	62-4789	62-4799	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 (羽黒体育館)
羽 黒 テ ニ ス コ ー ト	997-0141	羽黒町荒川字谷地堰30-1			
羽 黒 体 育 セ ン タ ー	997-0141	羽黒町荒川字前田元64-7			
櫛引スポーツセンター	997-0342	三千刈字清和158-1	57-4311	57-4317	NPO法人鶴岡市 スポーツ協会 (櫛引スポーツ センター)
櫛引総合運動公園	997-0311 997-0351	黒川字大杉川原地内 勝福寺字福島地内 勝福寺字田畑地内			
朝日スポーツセンター	997-0402	東岩本字野中143	53-3302	電話と兼用	NPO法人鶴岡市 スポーツ協会 (朝日スポーツ センター)
温 海 総 合 運 動 場	999-7204	湯温海字嶽之腰1-1	43-4411	43-4427	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 (温海ふれあいセンター)
温 海 湯 見 ケ 代 運 動 場	999-7204	湯温海字湯見ケ代10-1			

つるおかの教育 2026

令和8年8月 発行

鶴岡市教育委員会
